

令和5年度 研修講座一覧

とくしま教職員研修



徳島県教育委員会

目 次

1 はじめに	1
2 本県が目指す教員像	1
3 とくしま教員育成指標における資質・能力	1～2
4 とくしま教員育成指標	3～15
5 とくしま教員育成指標を踏まえた研修体系	16
6 受講のしくみ	17
7 各研修講座表の見方	18
8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス	19
9 研修講座の紹介	
① 「5つの柱」別研修講座	20～24
② 研修種別講座	
Ⅰ 基本研修	25
Ⅱ 職務研修	25～27
Ⅲ 推薦研修	28
Ⅳ 特別研修	28
Ⅴ 希望研修	29
Ⅵ 教育職員免許法認定講習等	30
Ⅶ 大学・研究機関等研修等	30
Ⅷ 自主研修	30
Ⅸ 受託研修	30
10 研修講座申込みシステムからの申込み	31～33
11 研修履歴の活用について	34
12 利用案内	
カリキュラムサポートセンター／カリキュラム・カフェ／マナビィセンター	35～36
「徳島型メンター制度」について	37
交通アクセス／フロア案内図／周辺地図	

1 はじめに

徳島県教育委員会では、教員等が教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続け、高度専門的職業としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質・能力を明確化するため、「とくしま教員育成指標」を策定しています。この「とくしま教員育成指標」が、主体的に学び続け自己を高めるための「道しるべ」となり、活用されていくことが強く求められます。

「とくしま教職員研修」は「とくしま教員育成指標」を踏まえ、研修体系を再構築したものです。連続性・発展性のある「キャリアステージに応じた研修」と、学習指導要領や喫緊の課題等に対応するための「目的やニーズに応じた研修」の2つを柱に、主体的に学び続け自己を高める教職員を支える多様な研修講座を開設します。さらに、この冊子の職務研修、推薦研修、特別研修、希望研修の表中には、「とくしま教員育成指標」の中で特に重点を置いた資質・能力を記号で示しています。

総合教育センター等で行われる校外研修（OFF-JT）と校内での業務を通じた研修（OJT）、自己啓発（SD）を意図的・計画的に関係付け、自身のキャリアデザインに積極的に取り組んでください。自己研鑽のため、子供たちの未来のために、目的意識をもって研修を活用してください。

2 本県が目指す教員像

「徳島教育大綱」における基本方針「未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる『人財』の育成」を目指し、主体的に学び続け自己を高める教員

3 とくしま教員育成指標における資質・能力

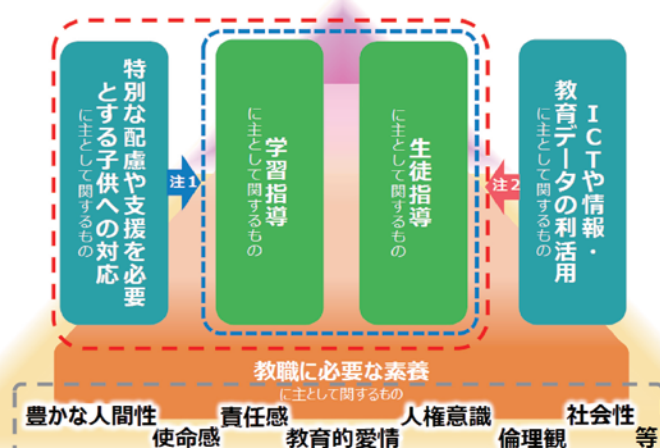
令和4年8月、変化の激しい時代において、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適な学び、協働的な学びにより、教職生涯を通じて学び続けるといった、新たな教師の学びを実現する観点から、改正教育公務員特例法（令和4年5月）を受け、より効果的な教師の資質向上を図るため、「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」が改正されました。

その中で、教師に共通的に求められる資質・能力を、①教職に必要な素養、②学習指導、③生徒指導、④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応、⑤ICTや情報・教育データの利活用の5つの柱で再整理し、教員研修計画の整備等、教員等としての資質の向上を推進する体制整備に取り組む重要性が示されたことを受け、令和5年2月に再整理を行いました。

「①教職に必要な素養」に支えられた「②学習指導」「③生徒指導」に関わる資質を発揮する際に、「④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」と「⑤ICTや情報・教育データの利活用」が大きな影響を与えます。換言すれば、「④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」と「⑤ICTや情報・教育データの利活用」に関わる知識やスキルを向上させることにより、「②学習指導」「③生徒指導」が児童生徒一人一人により応じたものとなります。

※「5つの柱」の捉え方

公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針
に基づく教師に共通的に求められる資質の具体的内容



※ 上記に関連して、マネジメント、コミュニケーション（ファシリテーションの作用を含む）、連携協働などが横断的な要素として存在

「公立学校の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正（令和4年文部科学省告示第115号）」より

求められる資質・能力については、各校種・職種（管理職は除く）とも、前述の「5つの柱」との対応を図り、5つに大別しました。現行のとくしま教員育成指標は、「公立学校の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正（令和4年文部科学省告示第115号）」に記載された「5つの柱」の詳述とも強く関連していることから、現行のとくしま教員育成指標の柱も生かしつつ、次のように設定しました。

5つの柱	とくしま教員育成指標の柱（校種・職種）
①教職に必要な素養	○素養（全校種・職種）
②学習指導	○授業力・学習指導（小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校の教諭） ○専門的職務実践力・学習指導（養護教諭・栄養教諭）
③生徒指導	○担任力・生徒指導（全校種・職種）
④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	○特別な配慮・支援（特別支援学校教諭以外） ○特別支援の充実（特別支援学校教諭）
⑤ICTや情報・教育データの利活用	○ICTの利活用（全校種・職種）

職務研修，推薦研修，特別研修，希望研修の表中における【とくしま教員育成指標における資質・能力】についての記号対応は次の通りです。

【教諭用】

1	素養	A	使命感・倫理観
		B	識見・学び続ける力
		C	社会性・コミュニケーション力
		D	学校組織マネジメント力
		E	連携・協働力
		F	危機管理能力
2	授業力・学習指導	A	カリキュラム・マネジメント力（小・中・高・特）
		B	授業構想力（小・中・高・特）
		C	授業実践力（小・中・高・特）
		D	授業省察力・改善力（小・中・高・特）
	専門的職務実践力・学習指導	A	保健管理（養）
		B	保健教育（養）
		C	健康相談（養）
		D	保健室経営（養）
		E	保健組織活動（養）
		F	教科等における教育指導（栄）
		G	個別的な相談指導（栄）
		H	学校給食の管理（栄）
		I	食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開（栄）
		J	食育コーディネーターとしての連携・調整（栄）
3	担任力・生徒指導	A	児童生徒理解・指導力（小・中・高・養・栄） 幼児児童生徒理解・指導力（特）
		B	集団づくり力
		C	課題解決力
		D	未来ビジョン育成力
		E	目標の明確化・実態把握力（特）
		F	チームによる組織力（特）
4	特別な配慮・支援	A	個に応じた指導・支援力（小・中・高・養・栄）
		B	チームによる実践（小・中・高・養・栄）
		C	「わかった」「できた」を育む学習支援力（小・中・養・栄）
		D	「わかった」「できた」を育む生活支援力（小・中・養・栄）
		E	多様性に基づく学習支援力（高）
		F	多様性に基づく生活支援力（高）
	營養支援	G	センター的機能の推進力（特）
		H	地域貢献力（特）
5	ICT活用	A	ICTを学習指導に利活用する力
		B	ICTを効率的な業務の遂行に活用する力

【管理職用】

素養	A	使命感・責任感
	B	倫理観
	C	リーダーシップ・決断力
	D	先見性・識見
	E	社会性・人間関係構築力
学校マネジメント力	A	企画経営力
	B	組織づくり力
	C	危機管理能力
	D	学校資源整備・活用力
	E	人材育成力
	F	連携・交渉力
	G	職場環境づくり力
	H	特別支援教育推進力

※（ ）内の表記について

小…小学校教諭

中…中学校及び中等教育学校（前期）教諭

高…高等学校及び中等教育学校（後期）教諭

特…特別支援学校教諭

養…養護教諭

栄…栄養教諭

※（ ）がない項目は、全校種・職種が該当する

※特別支援学校教諭の「特別支援の充実」は、障がいのある児童生徒一人一人に応じた支援・配慮を全ての指導場面で実施することから、全ての教員に特別支援に関する一層の専門性向上が求められており、新時代の特別支援教育を担うために必要な資質・能力として、新たに示しました。

※幼稚園等については、徳島県教育委員会学校教育課作成の「幼稚園等教諭教員育成指標モデル」「幼稚園等管理職等教員育成指標モデル」に拠ります。

4 とくしま教員育成指標

【小学校教諭用】

令和4年度改訂

資質・能力	キャリアステージ	採用時に本県が求める力			〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉	
		養成期	基盤形成期	伸長・充実期	深化・発展期		熟達期			
A 使命感・倫理観	社会性・コミュニケーション力	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んで見ている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○児童一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。
		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○自己を大切にし、人権感覚を身に付けて、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	○人材育成の重要性を踏まえ、OJTを計画的・継続的に進め、支え合い、学び合う環境づくりをしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考慮、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。
		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。
		○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。
		○基本的な指導技術を身に付け、児童の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。
B 授業構想力	カリキュラム・マネジメント力	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。
		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。
		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。
C 授業実践力	カリキュラム・マネジメント力	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。
		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。
		○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。	○児童の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。

素養		ICTの活用		特別な配慮・支援		担任力・生徒指導	
D	授業省察力・改善力	児童の習得状況に応じた指導・支援の方法を理解している。	授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	児童の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導・支援をしている。	児童の質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。
A	児童生徒理解・指導力	児童理解の意義や、児童の心身の発達過程・特徴について理解している。	児童理解の意義や、児童の心身の発達過程・特徴について理解している。	児童の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	児童の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	児童の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	児童の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。
B	集団づくり力	担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学級経営の基本的な指導方法を身に付けている。	学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	学級集団をはじめ、児童会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。
C	課題解決力	学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	様々な課題に気づき、児童、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	様々な課題に気づき、児童、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	様々な課題に気づき、児童、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	様々な課題に気づき、児童、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。
D	未来ビジョン育成力	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。
A	個に応じた指導・支援力	特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	児童の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	児童の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	児童の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	児童の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の視点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。
B	チームによる実践	関係する校務分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	関係する校務分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しながら、指導・支援に取り組んだり、児童同士の相互理解が深まるような交流を図っている。	保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しながら、指導・支援に取り組んだり、児童同士の相互理解が深まるような交流を図っている。	保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しながら、指導・支援に取り組んだり、児童同士の相互理解が深まるような交流を図っている。	保護者や特別支援教育コーディネーター、他の教職員と連携・協働しながら、指導・支援に取り組んだり、児童同士の相互理解が深まるような交流を図っている。
C	「わかった」「できた」を育む学習支援力	学びに困難を抱える児童への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	学びに困難を抱える児童への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	児童一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法・称賞・承認の方法等について、若手教員に助言している。	児童一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法・称賞・承認の方法等について、若手教員に助言している。	児童一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法・称賞・承認の方法等について、若手教員に助言している。	児童一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法・称賞・承認の方法等について、若手教員に助言している。
D	「わかった」「できた」を育む生活支援力	将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	児童一人一人にに応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じ、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	特別な配慮や支援を必要とする児童を含む全ての児童の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	特別な配慮や支援を必要とする児童を含む全ての児童の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	特別な配慮や支援を必要とする児童を含む全ての児童の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	特別な配慮や支援を必要とする児童を含む全ての児童の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。
A	ICTを学習指導に活用する力	学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学習の質や長期的な変容に関する教育データに関する分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学習の質や長期的な変容に関する教育データに関する分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学習の質や長期的な変容に関する教育データに関する分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。	最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学習の質や長期的な変容に関する教育データに関する分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。
B	ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。

【中学校・中等教育学校（前期課程）教諭用】

令和4年度改訂

資質・能力	キャリアステージ	採用時に本県が求める力			〈第1ステージ〉		〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉	
		養成期			基礎形成期		伸長・充実期		深化・発展期	
		○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。			○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。		○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。		熱連期	
A 使命感・倫理観	B 識見・学び続ける力	○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。			○教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。		○家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。		○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、配を示している。	
		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。			○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。		○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	
		○自己を大切にし、人権感覚を身に付けて、互いに尊重し合う人間関係を築いている。			○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。		○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループとも連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	
		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。			○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。		○校務分掌等の業務の工夫改善を図るとともに、若手教員に助言をしている。		○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。	
		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。			○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。		○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。		○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。	
		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。			○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を予測して行動するとともに、安心・安全に配慮した環境づくりをしている。		○これまでの経験を生かし、地域と協働した創意工夫のある安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する取組を発信したり、危機管理体制づくりに参画したりしている。	
授業力・学習指導	A カリキュラム・マネジメント力	○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。			○学校教育目標を踏まえつつ、生徒の実態に応じ、作成の意図を考えたから、学校のカリキュラムを活用している。		○学校教育目標を踏まえ、各学年間の系統や幼・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かした創意工夫のあるカリキュラムを作成している。		○学力調査・学校評価等の結果に基づき、学校の課題を把握し、改善策を組織的に展開している。	
	B 授業構想力	○生徒の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を考えながら、学習指導案を作成している。			○生徒の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。		○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組み、創意工夫のある授業を構想している。		○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言をしている。	
	C 授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。			○育成を目指す資質・能力の定着に向け、発問・指示・説明・板書・生徒とのやり取り・最新のICT等の指導技術を身に付け、活用している。		○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法、評価方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に当たっている。		○幅広い情報を基に自分の指導技術、指導方法、評価方法を更新しつつ新しい技術や方法を取り入れた範を積極的に示したり、学校全体の授業力向上を働きかけたりしている。	

			○生徒の習得状況に応じた指導・支援の方法を理解している。	○生徒の習得状況を目標に照らして評価し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための指導・支援をしている。	○学びの質や長期的な変容にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補完的・発展的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による質的な学習の深まりを把握し、意図的・計画的な指導・支援をしている。
	D 授業改善力・改善力		○授業を分析して改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	○自分の授業を振り返り改善する習慣や、他の教職員の授業に学ぶ習慣が身に付いている。	○校内や郡市の研究会等で研究授業を積極的に行うとともに、助言を受けて、自分の授業を客観的に評価し、授業改善につなげている。	○学校全体の授業改善に取り組む環境づくりに努め、教員の個性を生かす助言をしている。
	A 児童生徒理解・指導力		○生徒理解の意義や、生徒の心身の発達過程・特徴について理解している。	○生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。
	B 集団づくり力		○担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、学校経営の基本的な指導方法を身に付けている。	○学級集団をはじめ、生徒会や部活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動について、よりよい集団に高め、集団相互の関わりを活性化させるとともに、若手教員に助言をしている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的な方を提案している。
	C 課題解決力		○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家に連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的でせめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。
	D 未来ビジョン・育成力		○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、一人一人の進路選択、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるように指導し、自覚を促している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。
	A 個に応じた指導・支援力		○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人・保護者のニーズを踏まえ、個別の教育支援計画や個別の指導計画を立案して、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	○生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の観点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	○個々の生徒に対する合理的配慮の実施について助言したり、障がい者理解の促進について、家庭や地域への発信に努めたりしている。
	B チームによる実践		○関係する校務分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○保護者や特別支援教育コーディネーター、支援に取り組んだり、生徒同士の間で相互理解が深まるような交流したりして、ケース会議等を実施している。	○校内委員会等で情報共有を行ったり、外部の専門家や関係機関と連携したりして、ケース会議等を実施している。	○インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で生徒を支援する体制の整備を推進している。
	C 「わかった」「できた」を育む学習支援力		○学びに困難を抱える生徒への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○他の教職員と協働し、生徒の学習上のつまづきに対する配慮や支援、教材づくりに積極的に取り組み、意欲的・主体的に学ぶ授業づくりを行っている。	○アセスメントに基づき指導目標を明確化し、担任・担当間で積極的に授業改善を行うとともに、生徒の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援をしている。	○生徒一人一人の実態に応じた目標設定、教材教員の工夫、指導方法、称賛・承認の方法等について、若手教員に助言している。
	D 「わかった」「できた」を育む生活支援力		○将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	○生徒が円通しをもって学校生活を過ごせるように、教室環境の整備や学級内ルールの明確化を図るとともに、コミュニケーションスキル向上等に関する指導を行っている。	○特別な配慮や支援を必要とする生徒を含む全ての生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	○個別支援や、ポジティブ行動支援の実践について、全教職員で指導の効果を確し、生徒の成長と共に喜び合う機会を計画的に設定している。
			○生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的に取り入れた授業を構想している。	○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じ、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	○これまでの実践や経験をもちに、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につながる助言をしている。
	A ICTを学習指導に活用する力		○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、積極的にICTを活用した指導を実践するとともに、蓄積した教育データを学習評価につなげている。	○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための補完的・発展的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言をしている。
	B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力		○学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学級事務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な活用について教職員に提案している。

【高等学校・中等教育学校（後期課程）教諭用】

令和4年度改訂

キャリアステージ		採用時に本県が求める力	〈第1ステージ〉 基礎形成期	〈第2ステージ〉 伸長・充実期	〈第3ステージ〉 熟達期
資質・能力		養成期	深化・発展期		
	A 使命感・倫理観	○教育的愛情と熟意をもって教育活動に臨もうとしている。	○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	○使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。
		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む。）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	○教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	○家庭や地域の信頼にぶえ、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	○家庭や地域の信頼にぶえ、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。
		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。
	B 識見・学び続ける力	○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学生・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学生・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。
		○自他を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	○生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。
資質・能力	D 学校組織マネジメント力	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。	○スクール・ミッションやスクール・ポリシーを理解し、業務についての報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。	○グループの強みと弱みを分析したり、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。	○学校教育目標やスクール・ミッションの達成に向け、「チーム学校」としての組織力が発揮できるよう率先して工夫改善に努め、学校全体の教育計画の作成に参画している。
		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。	○校務分掌等の業務内容を理解し、計画的に職務遂行に努めている。	○校務分掌等の業務を、周囲の教職員とともに調整しながら遂行している。	○組織全体を俯瞰し、業務の効率化を推進している。
		○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	○地域における学校の役割を認識し、家庭や地域と協働する教育活動を推進している。
	E 連携・協働力	○互いの課題や悩みを解決するため情報交換を積極的に行うとともに、先輩教員に相談したり助言を求めたりしている。	○互いの課題や学びの共有を図るとともに、若手教員の範となるよう努めている。	○校内研修を充実させるとともに、若手教員に助言をしている。	○人材育成の継続性に努め、交流合い、学び合う環境づくりをしている。
		F 危機管理能力	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。	○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となつて事故等の未然防止に向け行動している。
	A カリキュラム・マネジメント力		○学習指導要領の「目標」「内容」や系統等を理解している。	○学校教育目標を踏まえつつ、生徒の実態に応じ、作成の意図を活用しながら、学校のカリキュラムを活用している。	○学校教育目標を踏まえ、各学年間の系統や幼小・小・中・高の接続を見通して、学校の特色を生かしたカリキュラムを提案している。
B 授業構想力		○生徒の活動の姿や思考の流れを想定し、教材やICT等の効果的な活用場面等を分析しながら、学習指導案を作成している。	○生徒の心身の発達や学習過程に関して理解するとともに、生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付け、様々な教材やICT等の効果的な活用や評価方法を取り入れた授業を構想している。	○生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着のために、指導と評価の一体化を図り、教材等の開発やICT等の効果的な活用に取り組む、創意工夫のある授業を構想している。	○これまでの実践や経験を基に、単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高め、ICT等の効果的な活用方法と学習評価の研究に努め、改善につながる助言をしている。
		C 授業実践力	○基本的な指導技術を身に付け、生徒の学習の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	○有成を目指す資質・能力の定着に向け、発問・指示・説明・板書・生徒とのやり取り・最新のICT等の指導技術を身に付け、活用している。	○最新の知見に基づき、新たに身に付けた指導技術、指導方法、評価方法を積極的に活用し、授業を展開するとともに、若手教員への助言・育成に当たっている。
授業力・学習指導			○学びの質や長期的な姿勢にも目を向け、ICT等を効果的に活用して一人一人の習得状況を的確に把握し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の実のための補充的・発展的な指導・支援をしている。		

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

特別支援の充実		ICTの活用		素養	
特別支援の充実	担任力・生徒指導	B 集団づくり力	○一斉授業において、個別目標に対応した題材を設定したり、役割を分担せたりして、集団づくりの工夫を行っている。	○一斉授業により学級、学年、学部で行うもの、他の学部と合同で行うもの等の集団構成を行い、幼児児童生徒同士のコミュニケーションに積極的に取り組むとともに、若手教員に助言をしている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。
		C 課題解決力	○学校の教職員や専門家のアドバイスを受けながら、特別支援教育の最新の知見に基づいた指導方法や指導技術を身に付けている。	○幼児児童生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防にに取り組んでいる。	○学校が直面する様々な課題を把握し、その解決のために、個別的な支援や、ポジティブ行動支援の実践等、組織的できめ細やかな指導・支援を学校全体で取り組むように推進している。
		D 未来ビジョン育成力	○将来の社会参加と自立の視点に基づき、キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、就労支援機関、企業、福祉施設、関係機関等との連携を図りながら、卒業後の社会的・職業的自立やQOLの向上を目指してあらゆる教育活動に取り組んでいる。	○学校の教育活動全体を通じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導や、卒業後の生活を見据えた指導・支援について、学校全体における取組を推進している。
		E 目標の明確化・実態把握力	○幼児児童生徒の実態把握の必要性を認識し、指導目標を明確にしようとしている。	○各種発達心理検査、一般職業適性検査結果の活用や、課題分析等の客観的な根拠に基づいた実態把握に取り組む。	○障がい特性理解を深めるための効果的な研修の方策を理解し、教職員に研修を促したり、助言をしたりしている。
ICTの活用	担任力・生徒指導	F チームによる組織力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、チームで協力して解決する必要性を理解している。	○医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が安心・安全な学校生活を送るために、養護教諭や学校看護師と連携し、給食における指導や医療的ケア等に取り組んでいる。	○学校が直面する様々な課題を把握し、その解決のために、組織的できめ細やかな指導・支援を関係機関や学校全体で1つのチームとして、取り組むように推進している。
		G センターの推進力	○特別支援学校のセンター的機能の役割を理解している。	○自校におけるセンター的機能について、校内組織や活動内容を理解し、先輩教員とともに、地域の学校への理解・啓発に取り組んでいる。	○特別支援教育における高い専門性を持つ後進の育成を推進することにも、自校のセンター的機能が有効に発揮されるために、校内の組織体制の機能強化に取り組んでいる。
		H 地域貢献力	○特別支援学校が取り組んでいる、家庭や地域、企業等と連携・協働した実践について知っている。	○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。	○多様性を認め合う「ダイバーシティとくしま」の実現を目指した地域と一体化した取組を推進している。
		A ICTを学習指導に活用する力	○幼児児童生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○幼児児童生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的に取り入れた授業を構想している。	○単元・題材の開発や授業構想に関する専門性に加え、ICTの適切かつ効果的な実践・研究を生かした授業改善についての助言をしている。
ICTの活用	担任力・生徒指導	B ICTを効果的な業務の遂行に活用する力	○学習指導に必要なアブリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、積極的にICTを活用した指導を実践し、一人一人の障がい特性、困難さ、支援のニーズに応じた利活用を行うとともに、蓄積した教育データを学習評価につなげている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努めるとともに、一人一人に応じた利活用について助言をしている。
			○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学級事務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学級業務支援システムやその他のクラウドサービスの効果的な利活用について教職員に提案している。	

特別な配慮・支援	担任・生徒指導	A 児童生徒理解・指導力	○児童生徒理解の意義や、児童生徒の心身の発達過程・特徴について理解している。	○児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるよう意図的・計画的に指導・支援をするとともに、若手教員に助言をしている。	○児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりをしている。
		B 集団づくり力	○集団づくりの意義や集団づくりの基本的な指導方法を理解している。	○学級担任等と連携しながら、学級集団をはじめ、児童会・生徒会やクラブ活動等の集団の経営方針を基に、それぞれ一貫性のある指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動の指導に積極的に関わり、よりよい集団に高め、集団相互の関わりを活性化させるとともに、若手教員に助言をしている。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的方策を提案している。
		C 課題解決力	○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○児童生徒の心身の健康課題を早期に発見し、保護者、他の教職員等と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○児童生徒の心身の健康課題を早期に発見し、疾患の予防等の課題解決に向け、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、グループ・カールな視野とキャリア教育・消費者教育、主権者教育の観点から、児童生徒の課題を捉え、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。
		D 未来ビジョン・育成力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の観点から、学習の場を踏まえ、児童生徒の自己有用感を高めつつ、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるよう指導を自覚促している。	○発達段階に応じて、グループ・カールな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の観点から、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、グループ・カールな視野とキャリア教育・消費者教育、主権者教育の観点から、児童生徒の課題を捉え、異年齢集団を組織したり、他校種や家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図ったりしながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。
ICTの活用	ICTを学習指導に活用する力	A 個に応じた指導・支援力	○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人・保護者のニーズを踏まえ、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	○児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の観点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	○個々の児童生徒に対する合理的配慮の実施について助言したり、障がい者理解の促進について、家庭や地域への発信に努めたりしている。
		B チームによる実践	○関係する校務分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○保護者や特別支援教育コーディネーター、指導・支援に取り組んでいる。	○校内委員会等で情報共有を行っている。外部の専門家や関係機関と連携したりして、ケース会議等を実施している。	○インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で児童生徒を支援する体制の整備を推進している。
		C 「わかった」「できた」を育む学習支援力	○学びに困難を抱える児童生徒への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○他の教職員と協働し、児童生徒の学習上のつまづきに対する配慮や支援、教材づくりに積極的に取り組み、意欲的・主体的に学び授業づくりに行っている。	○アセスメントに基づき指導目標を明確化し、担任・担当間で積極的に授業改善を行うとともに、児童生徒の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援をしている。	○児童生徒一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法、称賛・承認の方法等について、若手教員に助言している。
		D 「わかった」「できた」を育む生活支援力	○将来の社会参加と自立の視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	○児童生徒が見過ごしをもって学校生活を送れるように、保健室環境の整備や保健室内ルールの明確化を図るとともに、コミュニケーションスキル向上等に関する指導を行っている。	○特別な配慮や支援を必要とする児童生徒を含む全ての児童生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	○個別支援や、ポジティブ行動支援の実践について、全教職員で指導の効果を検証し、児童生徒の成長を共に喜び合う機会を計画的に設定している。
ICTを学習指導に活用する力	ICTを学習指導に活用する力	A ICTを学習指導に活用する力	○児童生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、学習指導案を作成している。	○児童生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的に取り入れた授業を構想している。	○児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じて、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業を実践している。	○これまでの実践や経験をともに、单元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につながる助言をしている。
		B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、学級担任等と連携し、積極的にICTを活用した指導を実践している。	○学級担任等と連携し、最新の知見に基づきICTを効果的に活用した授業を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な学びの体系的な学びの補完的・発展的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な学びに向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言をしている。
		B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	○学校業務に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、学校保健に関する業務、校務において、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスを活用している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの多くの機能を活用して効率的に業務を遂行している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービスの効率的な活用について教職員に提案している。

【栄養教諭用】

令和4年度改訂

資質・能力	キャリアステージ	採用時に本県が求める力		〈第1ステージ〉 基礎形成期		〈第2ステージ〉 伸長・充実期		〈第3ステージ〉 熟達期	
		養成期		養成期		養成期		養成期	
A 使命感・倫理観	A 使命感・倫理観	○教育的愛情と熱意をもって教育活動に臨もうとしている。		○「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人材」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。		○使命感と教諭への誇り、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。		○使命感と教諭への誇り、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	
		○社会人としての常識やマナー、道徳性（情報モラルを含む）を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。		○教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職責を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。		○家庭や地域の信頼を得ている。家庭や地域の信頼を得ている。		○家庭や地域の信頼を得ている。家庭や地域の信頼を得ている。	
		○学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。		○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。		○知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。		○豊かな経験に裏打ちされた識見を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	
		○コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。		○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。		○教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。		○組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	
B 社会性・コミュニケーション力	C 社会性・コミュニケーション力	○自己を大切にし、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。		○児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。		○児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。		○学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	
		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○グループの強みと弱みを分析した上で、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。		○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループと連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	
D 学校組織マネジメント力	D 学校組織マネジメント力	○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○グループの強みと弱みを分析した上で、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。		○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループと連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	
		○組織の一員として、目標と自分の役割を理解し、協働して責任を果たそうとしている。		○学校の経営方針を理解し、報告・連絡・相談を適切に行いながら、日々の教育活動に協働して取り組んでいる。		○グループの強みと弱みを分析した上で、PDCAサイクルを活用したりしながら、組織を活性化させている。		○グループリーダーとして、創意工夫や企画力を発揮し、他のグループと連携・調整をしながら、組織を活性化させている。	
E 連携・協働力	E 連携・協働力	○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。		○地域の教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。		○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	
		○家庭や地域と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等へ参加している。		○家庭や地域との連携・協働の意義を踏まえ、家庭や地域と積極的に関わり、協働活動に取り組んでいる。		○地域の教育資源（人材・施設・伝統行事等）についての情報を把握し、その活用を図っている。		○家庭や地域に働きかけ、教育活動を充実させるためのネットワークを形成している。	
F 危機管理能力	F 危機管理能力	○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応・衛生管理等をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応・衛生管理等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。		○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。	
		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応・衛生管理等をはじめ危機管理の重要性を理解し、危険を察知したとき、状況に応じた行動をしている。		○安全教育・防災教育・情報モラル教育・食物アレルギー対応・衛生管理等に関する危機管理の知識を身に付け、早期発見や想定外の事態への対応に努め、緊急時に自分の役割を果たしている。		○危機管理に対する意識を高め、危険を予測して行動するとともに、安全に配慮した環境づくりをしている。		○緊急時のシミュレーションを行い、対応を考え、グループの中心となって事故等の未然防止に向け行動している。	
F 教科等における教育指導	F 教科等における教育指導	○学習指導要領における食育の位置付けと、食育全体計画作成時の栄養教諭の役割を理解している。		○学校教育目標を踏まえ、児童生徒の実態に応じた食育全体計画を作成し、学級担任等と連携しながら、給食時間の指導及び教科等における食に関する授業に、ICT等を効果的に活用し、参画している。		○学校教育目標を踏まえ、児童生徒の実態に応じた食育全体計画に沿って、食に関する授業に参画するとともに、指導と評価の一体化を図り、ICT等を効果的に用いた食育実践を保護者等に発信することで、家庭や地域との連携を図っている。		○食育がより効果的に行われるよう、高い専門性を生かし、助言をしている。	
		○ICT等を効果的に活用し、食に関する指導の学習指導案作成や教材研究を行っている。		○ICT等を効果的に活用し、食に関する指導の学習指導案作成や教材研究を行っている。		○ICT等を効果的に活用し、食に関する指導の学習指導案作成や教材研究を行っている。		○ICT等を効果的に活用し、食に関する指導の学習指導案作成や教材研究を行っている。	
G 個別的な相談指導	G 個別的な相談指導	○児童生徒の食生活の現状を認識し、個に応じた相談指導の重要性を理解している。		○個別的な相談指導の流れを理解し、学級担任や養護教諭等と相談しながら、適切な対応をしている。		○校内食育推進組織の中で、児童生徒の状況を総合的に評価し、関係職員や学校医等と連携しながら適切な対応をしている。		○個別的な相談指導の実践に関し、近隣の栄養教諭や栄養教諭未配置校の教職員等に対し、経験を基に助言をしている。	
		○児童生徒の食生活の現状を認識し、個に応じた相談指導の重要性を理解している。		○個別的な相談指導の流れを理解し、学級担任や養護教諭等と相談しながら、適切な対応をしている。		○校内食育推進組織の中で、児童生徒の状況を総合的に評価し、関係職員や学校医等と連携しながら適切な対応をしている。		○個別的な相談指導の実践に関し、近隣の栄養教諭や栄養教諭未配置校の教職員等に対し、経験を基に助言をしている。	
H 学校給食の管理	H 学校給食の管理	○学校給食法を理解し、安全安心な学校給食管理を実践しようとしている。		○学校給食実施基準に基づき、食品構成や調理作業工程を考慮した献立を作成している。		○地域や「徳島ならではの」の創意工夫のある献立や社会的課題に対応した献立を作成している。また、喫食状況の把握から適切な栄養管理を行うとともに、教職員への情報提供や助言をしている。		○学校給食の運営管理に関し、各校や所属する市町村において指導的役割を果たしている。	
		○学校給食法を理解し、安全安心な学校給食管理を実践しようとしている。		○学校給食実施基準に基づき、食品構成や調理作業工程を考慮した献立を作成している。		○地域や「徳島ならではの」の創意工夫のある献立や社会的課題に対応した献立を作成している。また、喫食状況の把握から適切な栄養管理を行うとともに、教職員への情報提供や助言をしている。		○学校給食の運営管理に関し、各校や所属する市町村において指導的役割を果たしている。	
I 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	I 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開	○食に関する指導と学校給食の特質を理解し、それらを一体的なものとして実践しようとしている。		○各教科等において、学校給食が「生きた教材」となるような献立づくりをしている。		○学校給食を「生きた教材」として活用したり、食に関する指導によって得られた知見や情報を給食管理に生かしたりすることで、両者を一体のものとして展開するとともに、若手教員に助言をしている。		○食に関する指導と学校給食の管理の相乗効果が得られるように、教職員及び家庭、地域との連携を強化している。	
		○食に関する指導と学校給食の特質を理解し、それらを一体的なものとして実践しようとしている。		○各教科等において、学校給食が「生きた教材」となるような献立づくりをしている。		○学校給食を「生きた教材」として活用したり、食に関する指導によって得られた知見や情報を給食管理に生かしたりすることで、両者を一体のものとして展開するとともに、若手教員に助言をしている。		○食に関する指導と学校給食の管理の相乗効果が得られるように、教職員及び家庭、地域との連携を強化している。	

特別な配慮・支援	J 食育コーディネーターとしての連携・調整	○食育を推進するための、学校内外の連携の方法や重要性を理解している。	○食育コーディネーターとして、市町村学校教育推進委員会の運営に関わっている。	○市町村各校の食育全体計画の作成や円滑な実践のための支援をしている。	○食育コーディネーターの指導的立場となり、関係機関と連携を図りながら、市町村学校教育推進委員会の運営に中心となっており関わっている。
		○児童生徒理解の意義や、児童生徒の心身の発達過程・特徴について理解している。	○児童生徒に向き合い、一人一人の人格を尊重し、共感的理解に努めて信頼関係を構築するとともに、社会的資質や行動力を高めるよう指導・支援をしている。	○児童生徒の発達や個性等をより多面的に理解して信頼関係を構築し、長期的な視野をもって社会的資質や行動力を獲得できるような意図的・計画的に指導・支援するとともに、若手教員に助言をしている。	○児童生徒を深く理解し、細やかな配慮をするとともに、全ての教職員で児童生徒の理解や指導・支援の方針について共通理解を図る環境づくりにしている。
		○集団づくりの意義や集団づくりの基本的な指導方法を理解している。	○学級担任等と連携しながら、集団づくりの経営方針に沿ってよりよい集団に育てるために指導・支援をしている。	○異年齢集団等様々な集団活動の指導に積極的に関わり、集団相互の関わりを活性化させ、専門性を生かしながらよりよい集団づくりに取り組んでいる。	○学校全体の集団づくりの取組を視野に入れ、活性化させるための具体的な方を提案している。
		○学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○様々な課題に気づき、児童生徒、保護者、他の教職員と相談しながら、的確に課題解決を図っている。	○課題の未然防止や迅速な発見に努め、必要に応じて専門家と連携しながら課題解決を図り、その様々な方策について若手教員に助言をしている。	○学校が直面する様々な課題を把握し、組織的できめ細やかな指導・支援が行われるよう働きかけている。
素養	A 児童生徒理解・指導力	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の重要性を理解し、基本的な指導方法を身に付けている。	○キャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた学習の場を設定し、自立した生活、社会の形成における自己の役割について理解できるように指導し、自覚を促している。	○発達段階に応じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえ、学校種をこえた連携や、家庭、地域、企業、関係機関等との連携を図りながら、あらゆる教育活動を通じて指導・支援をしている。	○学校の教育活動全体を通じて、グローバルな視野とキャリア教育・消費者教育・主権者教育の視点を踏まえた指導が充実するよう、助言をしている。
	B 集団づくり力	○特別支援教育の理念や動向、特別支援教育に関連する基礎的な用語や、個に応じた指導・支援の必要性を理解している。	○児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、他の教職員とともに本人・保護者のニーズを踏まえ、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	○児童生徒の教育的ニーズに対応するための専門性を高め、合理的配慮の観点から校内での連絡・調整を行うなどして、学校生活全体を通じて個に応じた支援を行っている。	○個々の児童生徒に対する合理的配慮の実施について助言したり、障がい者理解の促進について、家庭や地域への発信に努めたりしている。
	C 未来ビジョン力	○関係する校内分掌（特別支援教育コーディネーター等）や、関係機関（医療・福祉・労働）のそれぞれの役割を理解している。	○保護者や特別支援教育コーディネーター、指導・支援に取り組んでいる。	○校内委員会等で情報共有を行ったり、外部の専門家や関係機関と連携したりして、ケース会議等を実施している。	○インクルーシブ教育システム構築に向け、関係機関等と連携しながら、学校全体で児童生徒を支援する体制の整備を推進している。
	D 「わかった」「できた」を育む学習支援力	○学びに困難を抱える児童生徒への配慮を理解し、基本的な指導・支援の方法を理解している。	○他の教職員と協働し、児童生徒の学習上のつまづきに対する配慮や支援、教材づくりに積極的に取り組み、意欲的・主体的に学ぶ授業づくりを行っている。	○アセスメントに基づき指導目標を明確化し、担任・担当間で積極的に授業改善を行うとともに、児童生徒の得意な面を認めることにより、学習意欲の向上につなげる支援をしている。	○児童生徒一人一人の実態に応じた目標設定、教材教具の工夫、指導方法、称賞・承認の方法等について、若手教員に助言をしている。
ICTの活用	A 「わかった」「できた」を育む生活支援力	○将来の社会参加と自らの視点に基づき、発達障がい等の特性による生活上の困難や、問題行動への基本的な支援方法を理解している。	○児童生徒が見通しをもって学校生活を通して学ぶように、環境の整備やルーールの明確化を図るとともに、コミュニケーションスキル向上等に関する指導を行っている。	○特別な配慮や支援を必要とする児童生徒を含む全ての児童生徒の望ましい行動を育てるために、ポジティブ行動支援の手法を用いて、課題の解決や問題の予防に取り組んでいる。	○個別支援や、ポジティブ行動支援の実践について、全教職員で指導の効果を確認し、児童生徒の成長と共に喜び合う機会を計画的に設定している。
		○児童生徒の活動の姿や思考の流れを踏まえ、ICTの活用場面等を想定しながら、食に関する指導の学習指導案を作成している。	○児童生徒の実態に応じ、育成を目指す資質・能力の定着に向け、目標と評価を関係付けて、ICTを積極的に取り入れた授業や給食時間の指導を構想している。	○児童生徒一人一人に応じ、育成を目指す資質・能力の定着を図るため、学習内容に応じて、ICTを適切かつ効果的に活用した創意工夫のある授業や給食時間の指導を実践している。	○これまでの実践や経験をもとに、食に関する指導における単元・題材の開発や授業構想に関する専門性を高めるとともに、ICTの効果的な活用方法の研究に努め、授業改善につながる助言をしている。
		○学習指導に必要なアプリケーションや情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○育成を目指す資質・能力の定着に向け、積極的にICTを活用した食に関する指導を実践するとともに、蓄積した教育データを学習評価につなげている。	○最新の知見に基づき、ICTを効果的に活用した授業や給食時間の指導を実践するとともに、学びの質や長期的な変容に関する教育データを分析し、個に最適な学びと協働的な学びのための補足的・発展的な指導・支援をしている。	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、必要とされる教育データの活用とICTスキルの向上についての研究に努め、助言をしている。
		○栄養管理や衛生管理に必要なアプリケーション操作や情報モラル・セキュリティに関する知識や技能を身に付けている。	○所属する組織のセキュリティポリシーを理解し、献立作成や発注業務、諸帳簿整備等に必要なアプリケーションや学校業務支援システム、その他のクラウドサービス等を利活用している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムの多くの機能やその他のクラウドサービス等を活用しており、近隣の栄養教諭等と情報共有をしながら、多くの機能を理解し効率的に業務を遂行している。	○セキュリティポリシーを遵守し、学校業務支援システムやその他のクラウドサービス等の効率的な活用にについて教職員に提案している。

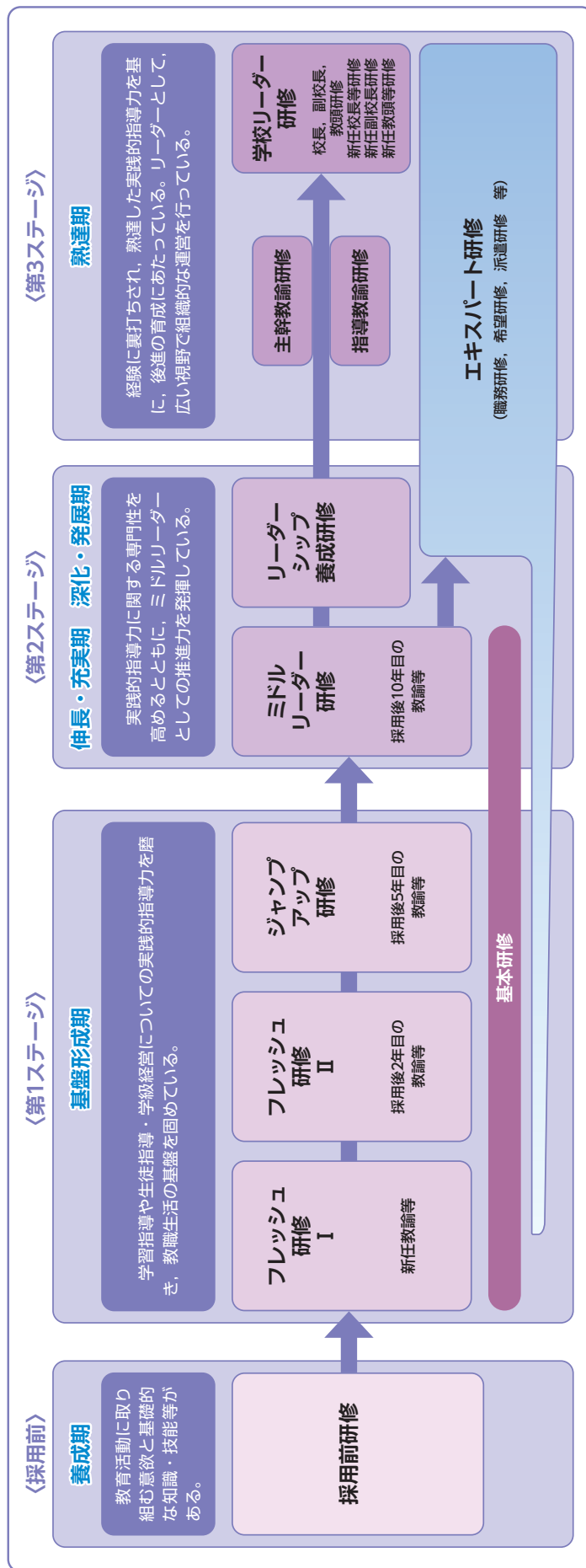
【管理職用】

令和4年度改訂

資質・能力		職 位	教 頭	副校長	校 長
素 養	A	使 命 感・責 任 感	○校長を補佐する自覚をもち、校務全般を把握するとともに、それらが円滑に機能するよう、責任感をもって自分の役割を果たしている。	○学校の最高責任者としての覚悟をもち、法令等に基づいて適正な学校経営を行い、よりよい児童生徒の育成に使命感をもって取り組んでいる。	
	B	倫 理 観	○法令を遵守し、鋭い人権感覚のもと、誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、教職員に対してもコンプライアンスに関する的確な指導をしている。	○鋭い人権感覚と規範意識に基づき、職務を遂行するとともに、教育公務員としての職責や義務を教職員に示している。	
	C	リーダーシップ・決断力	○組織のリーダーとしての自覚をもち、的確で迅速な判断と指示を行い、校務を遂行している。	○豊かな人間性と経験に裏打ちされた高い識見に基づき、冷静に状況を見極めて最終決断をしている。	
	D	先 見 性・ 識 見	○最新の情報を収集し、学校に対する社会の要請を自覚し、情報を基に適切な判断をしている。	○学校を取り巻く状況を把握し、児童生徒の将来を見通した学校経営ビジョンの形成に生かしている。	
	E	社会性・人間関係構築力	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等との関係性を高め、協働的な関係を築いている。	○家庭、地域、学校関係者や関係機関等と広く関わり、信頼関係を築いている。	
学 校 マ ネ ジ ン ト 力	A	企 画 経 営 力	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の理念を理解し、校長の指導のもと、具体目標の立案やその実現に向けた方策を提案している。 ○常に新しいものを取り入れたり創り出したりするチャレンジ精神をもち、教育を取り巻く社会の変化に対応した企画力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、学校や地域の実態を踏まえたカリキュラムマネジメントを推進するために、教職員に指導・助言し、学校全体で取り組む体制づくりをしている。 ○学校評価等の結果を分析し、PDCAサイクルに基づいて教育活動の改善を提案・実践している。	○「徳島教育大綱」や「教育振興計画」の趣旨を生かした中・長期的な経営ビジョンを明確にし、時代の潮流を見据えて学校経営方針を策定している。 ○国の動向や県の教育施策を熟知し、新たな教育環境を生み出す企画経営力を備えている。 ○学校経営方針に基づき、具体的目標や重点目標を掲げ、家庭や地域を巻き込んだカリキュラムマネジメントを確立している。 ○学校の教育活動や学校経営の課題を的確に把握するための計画的な評価改善に努め、新たな企画に生かしている。	
	B	組 織 づ くり 力	○組織の全体像を把握するとともに、学校教育目標に沿った体制整備をしている。 ○組織運営に関わる外部・内部環境を把握し、学校の強みを見出している。 ○教員評価を実施し、その結果を基に一人一人の持つ能力を積極的に引き出すとともに、教職員の自己有用感を高め、「チーム学校」を活性化している。	○学校教育目標の実現のために、多面的な視点から組織を統括している。 ○組織全体を俯瞰し、学校の強みを生かした組織づくりを行っている。 ○学校の教育活動が効率よく最大の効果があげられるように、教員評価の結果を生かし、「チーム学校」を牽引している。	
	C	危 機 管 理 力	○災害や想定外の事態の発生に備え、最新の情報を収集し、訓練を工夫・実践するとともに、危機管理マニュアルを絶えず見直し、発生時には迅速に対応している。 ○学校運営上必要な校内人事・施設・事務（財務・文書等）を管理している。 ○学校環境の安全を絶えず点検し、課題について適切に対応している。	○災害や想定外の事態の発生に備え、危機管理体制を確立し、発生時には状況を見通し、的確な指示を出している。 ○学校経営上必要な所属職員の管理・監督を行い、施設・事務（財務・文書等）の管理状況を掌握している。	
	D	学 校 資 源 整 備・活 用 力	○教育予算を把握し、施設の適切な管理や予算運用をしている。 ○外部との様々な調整の実務担当者として、国・県の動向や地域の実態をいち早く把握し、実情に応じて学校資源を整備・活用している。	○学校資源を把握し、教育予算等を有効活用する中で、組織の持続・成長の方策を打ち出している。 ○学校、地域の人的・物的資源を正確に把握し、地域の状況に応じて、学校資源活用の方針を策定している。	
	E	人 材 育 成 力	○経験を生かし、キャリアステージに応じた教職員の育成のために、客観的データ等に基づいて的確に指導・助言している。 ○人材発掘に努め、常に意図的・計画的に中核教員を育成している。 ○校長の指示のもと、教職員の資質・能力向上のための体制づくりに積極的に関わっている。	○教職員一人一人の資質・能力や実績を適切に把握し、人材活用に生かすとともに、それぞれに応じた受講奨励をしている。 ○それぞれの職務の立場から、教員のキャリアステージに応じた力量形成ができるよう指示をしている。 ○意図的・計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた学校リーダーを育成している。	
	F	連 携・ 交 渉 力	○家庭、地域や関係機関等と連携し、情報を共有しながら、協働活動やコミュニティ・スクール運営に取り組んでいる。 ○家庭や地域との連携において、教職員を支援している。	○家庭、地域や関係機関等との協働活動やコミュニティ・スクールを積極的に推進し、地域に根ざした学校づくりを行っている。 ○教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整・折衝を行いながら学校の課題解決につなげている。	
	G	職 場 環 境 づ くり 力	○教職員のICT等を活用した長時間労働解消やメンタルヘルスの保持増進に率先して取り組んでいる。 ○教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進するとともに、課題の解決や合意形成が協働的に行われるようにしている。	○ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、ICT等を積極的に活用した職場環境における課題の解決を図り、効率がよく働きやすい職場づくりをしている。 ○教職員間の関係性に配慮し、互いに信頼し、認め合う風通しのよい職場づくりを行っている。	
	H	特 別 支 援 教 育 推 進 力	○合理的配慮について理解し、インクルーシブ教育システムの充実に取り組んでいる。 ○特別支援教育の研修や校内OJTを推進し、計画的に教職員を育成している。 ○校内支援委員会を組織し、定期的を開催するなど、校内支援体制の構築に取り組んでいる。	○特別支援教育の理念を理解し、学校教育目標や学校評価に、特別支援教育についての目標や方策を位置づけるとともに、評価・改善を行っている。 ○適切な人材配置と、計画的な人材育成を行っている。 ○リーダーシップを発揮しつつ、校内支援体制を確立させ、組織として十分機能するよう教職員を指導している。	

5 とくしま教員育成指標を踏まえた研修体系

キャリアステージに応じた研修



目的やニーズに応じた研修

職務研修

職責・職能等に応じた知識・技能等を習得し、職務遂行の能力の向上を図るための研修講座

- 学力向上、道徳教育、人権教育、生徒指導、保健、安全、防災教育に関わる教職員の研修
- 特別支援教育に関わる教職員の研修
- 食育に関わる教職員の研修
- 事務、技術、実習に関わる教職員の研修 等

推薦研修

市町村教育委員会や学校からの推薦を受けて実施する研修講座

- GIGAスクール教科等研究集会
- 複式学級指導者研修講座
- 幼稚園等マネジメント研修
- 学校体育指導者講習会
- 薬物乱用防止教育研修会
- リーダーシップ養成研修 等

特別研修

喫緊の教育課題の把握と解決を図るために国や県の施策を受けて重点的に進めていく研修講座

- 英語教育に関する研修
- ICT活用に関する研修
- 防災教育に関する研修
- 人権教育に関する研修
- いじめ防止に関する研修
- あわ文化教育に関する研修
- 県国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座 等

希望研修

自己の教育課題の解決のために、自由に選択して学ぶことができる。様々な教育活動に関わるニーズに応えるための研修講座

- 特別支援教育に関わる教職員の研修
- 人権教育に関わる教職員の研修 等

大学・研究機関等研修

教育活動に関する各分野の専門性を高めるために、県内大学、研究機関等で実施される研修講座

専門教育大学、徳島大学、徳島文理大学、四国大学、徳島工業短期大学、農業大学校、徳島県立博物館、岡南市科学センター、あすたむらんど徳島、徳島県立農林水産総合技術支援センター、徳島県消費生活センター等で実施

教育職員免許法認定講習

特別支援学校の普通免許を取得するための研修講座

派遣研修

海外、文部科学省、大学、関係諸機関等、学校以外の施設に派遣され、職務上必要な専門知識・技能の習得及び社会の構成員としての視野の拡大を図る研修講座

6 受講のしくみ

各研修講座の受講のしくみについて説明しています。システム申込みの欄の○印は、総合教育センターの研修講座申込みシステムを利用して申し込む研修講座です。Ⅰ～Ⅶ, Xの各研修の概要は16ページの研修体系図を参照してください。Ⅷ, IXについては30ページを参照してください。

各研修名	受講のしくみ	システム申込み
Ⅰ 基本研修	○受講該当者に案内が通知されます。諸事情で受講が不可能な場合や該当者で通知がない場合は、管理職員が研修担当者まで申し出てください。	—
	○「ミドルリーダー研修」は、受講する研修講座を総合教育センターWebサイト上から申し込んでください。	○
Ⅱ 職務研修	○受講該当者に案内が通知されます。	—
Ⅲ 推薦研修	○各都市や各校・園ごとに研修講座に参加する人数枠があり、校長会等で通知します。 ○各都市や各校・園で参加者を決定して、各担当が取りまとめて申し込んでください。	—
	○「リーダーシップ養成研修」については、小学校・中学校教諭等は所属市町村教育長、高等学校・特別支援学校教諭等は所属学校長の推薦により受講者が決定されます。	—
Ⅳ 特別研修	○「つながる外国語教育！小中高連携EX研修」「小学校外国語専科教員研修会」については、各都市や各校ごとに研修講座に参加する人数枠があり校長会等で通知します。各都市や各校で参加者を決定して、各担当が取りまとめて申し込んでください。	—
	○「学校防災人材育成講座」については、小学校・中学校教諭等は所属長を通して市町村教育委員会に、県立学校教諭等は所属学校長に申し出てください。受講決定者に案内が通知されます。	—
	○「帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座」については、受講該当者に案内が通知されます。また、日本語教育に関心のある教職員が申し込むことも可能です。	○
	○上記以外の研修講座については、各校・園又は受講該当者に案内が通知されます。	—
Ⅴ 希望研修	○参加を希望される研修講座については、総合教育センターWebサイト上から申し込んでください。ただし、「教育支援委員会調査員研修講座」については、Webサイト上からは申し込みできません。	○
Ⅵ 教育職員免許法認定講習	○各学校に送付された案内文書に添付された所定の用紙で申し込んでください。	—
Ⅶ 大学・研究機関等研修	○講座名等は、別に配付される「大学・研究機関等研修予定表」を御覧ください。詳細は、総合教育センターWebサイトに掲載の実施要項で御確認いただき、Webサイト上から申し込んでください。	○
Ⅷ 自主研修	○「カリキュラム・カフェ～授業改善のための土曜セミナー～」の詳細は、総合教育センターWebサイトに掲載の実施要項で御確認いただき、Webサイト上（登録フォーム）から申し込んでください。	○
	○「サタデー ICT教室」の申込みは、校長の許可を受け、開催日の5日前の17時までに、申し込んでください。	—
	○「英語教育セミナー in 徳島2023」の申込みは、各学校に送付される案内文書に添付された所定の用紙で申し込んでください。	—
Ⅸ 受託研修	○実施希望日の3週間前までにGIGAスクール推進課までお問い合わせください。	—
X 派遣研修	○受講該当者に案内が通知されます。	—

7 各研修講座表の見方

- 対象校種の「幼」は幼稚園及び幼保連携型認定こども園,「小」は小学校,「中」は中学校・中等教育学校(前期課程),「高」は高等学校・中等教育学校(後期課程),「特」は特別支援学校を示しています。
- 対象職種等の「教諭等」,「教職員」は,それぞれ次の職種を表しています。

	対象となる職種
教諭等	校長, 園長, 副校長, 副園長, 教頭, 主幹教諭, 指導教諭, 教諭, 養護教諭, 栄養教諭, 保育教諭, 実習主任, 実習助手, 講師, 養護助教諭, 常勤講師
教職員	校長, 園長, 副校長, 副園長, 教頭, 主幹教諭, 指導教諭, 教諭, 養護教諭, 栄養教諭, 保育教諭, 実習主任, 実習助手, 講師, 養護助教諭, 常勤講師, 学校・園事務職員, 寄宿舎指導員, 期限付寄宿舎指導員, 学校栄養職員, 学校司書, 学校技師等

- 各研修講座の詳しい内容等のお問い合わせや欠席(遅刻・早退)の届については,それぞれの研修講座のうち背景が  の研修講座は,総合教育センターに,背景が  の研修講座は,備考欄の徳島県教育委員会各課に御連絡ください。
- 各研修講座を申し込む前には,必ず当該研修講座の実施要項を確認してください。実施要項は,総合教育センター Webサイトから閲覧できます。(31ページ参照)なお,実施要項の確認やダウンロードにIDやパスワードは必要ありません。
URL <https://www.tokushima-ec.ed.jp/>
- 備考欄の  マークがついている研修講座は,ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。
- 大学・研究機関等研修,自主研修,受託研修の備考欄の「免外可」は,免許外教科担当者にも知識・技能の習得のため積極的な受講を勧めている研修講座です。
- 幼稚園等の受講希望者は,管理職員の承認を得た上で,徳島県教育委員会学校教育課義務教育担当にファクシミリ(088-621-2882)で申し込んでください。受講の可否については,後日お知らせします。
- 非常勤講師(県立学校)で受講を希望される方は,当該校の管理職員に連絡の上,学校の入力担当者を通じて,研修講座申込みシステムにより申し込んでください。

8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス

キャリアステージ		採用時 養成期	〈第1ステージ〉					〈第2ステージ〉		〈第3ステージ〉				管理職			
			基盤形成期					伸長・ 充実期	深化・ 発展期	熟達期				教頭・副校長・校長			
研修講座		採用前 研修	研修 I （養護教諭 研修Ⅰ）	研修 II （養護教諭 研修Ⅱ）	研修 III （養護教諭 研修Ⅲ）	研修 IV （養護教諭 研修Ⅳ）	研修 V （養護教諭 研修Ⅴ）	研修 VI （養護教諭 研修Ⅵ）	研修 VII （養護教諭 研修Ⅶ）	指導教諭 研修 1年目	指導教諭 研修 2年目以降	主幹教諭 研修 1年目	主幹教諭 研修 2年目以降	学 校 リーダー 研 修 新任教頭等 任用1年目	学 校 リーダー 研 修 新任教頭等 任用2年目	学 校 リーダー 研 修 新任教頭等 任用3年目	学 校 リーダー 研 修 新任教頭等 任用4年目
1 素 養	A 使命感・倫理観	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/
	B 識見・学び続ける力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	C 社会性・コミュニケーション力	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○				
	D 学校組織マネジメント力	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○				
	E 連携・協働力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	F 危機管理能力	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○				
2 専門的職務実践力・学習指導	A カリキュラムマネジメント力（小・中・高・特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	B 授業構想力（小・中・高・特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	C 授業実践力（小・中・高・特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	D 授業省察力・改善力（小・中・高・特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	A 保健管理（養）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	B 保健教育（養）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	C 健康相談（養）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	D 保健室経営（養）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	E 保健組織活動（養）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	F 教科等における教育指導（栄）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	G 個別的な相談指導（栄）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	H 学校給食の管理（栄）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
3 担任力・生徒指導	A 児童生徒理解・指導力（小・中・高・養・栄） 幼児児童生徒理解・指導力（特）	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○				
	B 集団づくり力	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○				
	C 課題解決力	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○				
	D 未来ビジョン育成力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	E 目標の明確化・実態把握力（特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	F チームによる組織力（特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
4 特別な配慮・支援	A 個に応じた指導・支援力（小・中・高・養・栄）	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○				
	B チームによる実践（小・中・高・養・栄）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	C 「わかった」「できた」を育む 学習支援力（小・中・養・栄）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	D 「わかった」「できた」を育む 生活支援力（小・中・養・栄）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	E 多様性に基づく学習支援力（高）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	F 多様性に基づく生活支援力（高）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	G センター的機能の推進力（特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	H 地域貢献力（特）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
5 ICT活用	A ICTを学習指導に活用する力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
素 養 学校マネジメント力	A 使命感・責任感	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	B 倫理観	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	C リーダーシップ・決断力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	D 先見性・識見	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	E 社会性・人間関係構築力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	A 企画経営力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	B 組織づくり力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	C 危機管理能力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	D 学校資源整備・活用力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	E 人材育成力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	F 連携・交渉力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	G 職場環境づくり力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	H 特別支援教育推進力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○……………研修講座のねらいとする資質・能力の項目として、重点的に学ぶことができるよう位置付けている。

△……………選択することにより、学ぶことができるよう位置付けている。

空欄……………OJTと関連して資質・能力の育成を図る。

9 研修講座の紹介

① 「5つの柱」別研修講座

各研修講座のねらいとする資質・能力を、「5つの柱」で分類したものです。一つの研修講座で複数の資質・能力をねらいとしているため、資質・能力別に複数回研修講座が記載されています。

○……研修講座のねらいとする資質・能力の項目として、重点的に学ぶことができるよう位置付けている。

△……選択することにより、学ぶことができるよう位置付けている。

教諭用

1 素 養

A 使命感・倫理観 B 識見・学び続ける力 C 社会性・コミュニケーション力 D 学校組織マネジメント力
E 連携・協働力 F 危機管理能力

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I－1
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	I－2
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（養護教諭）	P25	I－12
	○	○				フレッシュ研修Ⅱ	P25	I－3
	○					ジャンプアップ研修	P25	I－4
○	○	△	△	○	△	ミドルリーダー研修	P25	I－5
○	○	△	△	○	△	ミドルリーダー研修（栄養教諭・学校栄養職員）	P25	I－6
○	○	△	△	○	△	ミドルリーダー研修（養護教諭）	P25	I－13
○			○	○		リーダーシップ養成研修	P28	Ⅲ－1
○				○		指導教諭研修（1年目）	P25	Ⅱ－4
○						栄養教諭・学校栄養職員研修会	P26	Ⅱ－5
○				○		通級による指導担当者研修会（1年目）	P26	Ⅱ－7
	○			○		通級による指導担当者研修会（2年目）	P26	Ⅱ－7
				○		通級による指導担当者研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－7
○	○			○		特別支援教育巡回相談員研修会	P26	Ⅱ－8
○				○		特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	Ⅱ－9
				○		特別支援教育コーディネーター研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－10
○				○		特別支援学級担任者研修会（視聴肢病言）	P26	Ⅱ－11
	○			○		特別支援学級担任者研修会（知情2年目）	P26	Ⅱ－12
					○	特別支援学校寄宿舎指導員研修会	P26	Ⅱ－14
○	○	○			○	新規採用実習助手研修	P27	Ⅱ－20
○					○	県立学校ネットワーク担当者研修会	P26	Ⅱ－16
○	○	○			○	実習主任・実習助手研修	P27	Ⅱ－21
	○					徳島県特別支援学校GIGAスクール教科等研究集会	P28	Ⅲ－2
	○					徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28	Ⅳ－3
					○	情報モラル教育研修会	P28	Ⅳ－4
					○	学校防災人材育成講座	P28	Ⅳ－6
					○	徳島県学校給食衛生管理推進研修会	P28	Ⅳ－7
				○		第3回特別支援教育アドバンスセミナー「特別支援教育の視点を活かした学級づくりと家庭との連携」	P29	V－6
○	○					教育支援委員会調査員研修講座	P29	V－7
		○		○		帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	Ⅳ－12
					○	熱中症講習会	P27	Ⅱ－36
					○	スポーツ施設等安全管理講習会	P27	Ⅱ－37
			○			学力向上推進員研修会（特）	P27	Ⅱ－24
			○			公立高等学校及び特別支援学校道徳教育推進教師研修会	P27	Ⅱ－30
○		○				人権教育主事研修会	P27	Ⅱ－31
				○		教育相談コーディネーター研修会	P27	Ⅱ－35
		○		○		“あわ”じんけん講座（指導力充実講座）	P28	Ⅳ－9
○				○		チーム学校いじめ防止スキルアップ研修	P28	Ⅳ－10
		○				“あわ”じんけん講座（希望研修）	P29	V－9
					○	学校防災研修会	P27	Ⅱ－38
			○			養護教諭・保健主事研修会	P27	Ⅱ－39
					○	学校保健・安全研修会	P27	Ⅱ－40
				○		学校食育推進研修会	P27	Ⅱ－41
					○	学校安全教室並びに学校安全教育指導者研修会	P27	Ⅱ－42
					○	薬物乱用防止教育研修会	P28	Ⅲ－12
			○			学力向上推進員研修会（小・中）	P27	Ⅱ－24
○						複式学級指導者研修講座	P28	Ⅲ－3

2 授業力・学習指導

A カリキュラム・マネジメント力（小・中・高・特） B 授業構想力（小・中・高・特）
C 授業実践力（小・中・高・特） D 授業省察力・改善力（小・中・高・特）

A	B	C	D	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ推薦研修 Ⅵ希望研修	Ⅱ職務研修 Ⅳ特別研修
○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	Iー1
	○	○	○	フレッシュ研修Ⅱ	P25	Iー3
		○	○	ジャンプアップ研修	P25	Iー4
○	○	○	○	ミドルリーダー研修	P25	Iー5
○	○		○	指導教諭研修（1年目）	P25	Ⅱー4
○				指導教諭研修（2年目以降）	P25	Ⅱー4
	○	○		通級による指導担当者研修会（1年目）	P26	Ⅱー7
	○	○		通級による指導担当者研修会（2年目）	P26	Ⅱー7
		○		通級による指導担当者研修会（3年目以上）	P26	Ⅱー7
	○	○	○	特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	Ⅱー9
		○	○	特別支援教育コーディネーター研修会（3年目以上）	P26	Ⅱー10
	○	○	○	特別支援学級担任者研修会（視聴肢病言）	P26	Ⅱー11
	○	○	○	特別支援学級担任者研修会（知情2年目）	P26	Ⅱー12
		○		新規採用実習助手研修	P27	Ⅱー20
		○		実習主任・実習助手研修	P27	Ⅱー21
○				徳島県特別支援学校GIGAスクール教科等研究集会	P28	Ⅲー2
	○	○		つながる外国語教育！小中高連携EX研修	P28	Ⅳー1
	○	○		小学校外国語専科教員研修会	P28	Ⅳー2
○	○	○		徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28	Ⅳー3
○				情報モラル教育研修会	P28	Ⅳー4
	○	○	○	新学習指導要領に対応した教科情報指導者研修	P28	Ⅳー5
	○			ESD～身近な「食」をテーマに考えよう～	P29	Vー1
			○	第1回特別支援教育アドバンスセミナー「学校で活かすポジティブ行動支援」	P29	Vー4
		○		第2回特別支援教育アドバンスセミナー「自立活動の授業づくり」	P29	Vー5
	○	○		水泳指導者講習会	P28	Ⅲー10
	○	○		学校体育指導者講習会	P28	Ⅲー11
○	○			あわ文化教育リーダー研修	P28	Ⅳー11
○	○	○	○	学力向上推進員研修会（小・中）	P27	Ⅱー24
○	○	○	○	学力向上推進員研修会（高）	P27	Ⅱー24
○	○	○		学力向上推進員研修会（特）	P27	Ⅱー24
○	○	○		公立高等学校及び特別支援学校道徳教育推進教師研修会	P27	Ⅱー30
○	○	○	○	徳島県高等学校GIGAスクール教科等研究集会	P28	Ⅲー7
		○		人権教育主事研修会	P27	Ⅱー31
		○		“あわ” じんけん講座（指導力充実講座）	P28	Ⅳー9
	○	○		“あわ” じんけん講座（希望研修）	P29	Vー9
○				学校食育推進研修会	P27	Ⅱー41
	○	○	○	小学校国語科・算数科授業づくり研修会	P27	Ⅱー25
	○	○	○	中学校国語科授業づくり研修会	P27	Ⅱー26
	○	○	○	中学校数学科授業づくり研修会	P27	Ⅱー27
	○	○	○	中学校英語科授業づくり研修会	P27	Ⅱー28
○	○	○		道徳教育推進教師研修会（小・特（小学部））	P27	Ⅱー29
○	○	○		道徳教育推進教師研修会（中・特（中学部））	P27	Ⅱー29
	○	○		複式学級指導者研修講座	P28	Ⅲー3
○	○	○	○	徳島県小学校GIGAスクール教科等研究集会	P28	Ⅲー5
○	○	○	○	徳島県中学校GIGAスクール教科等研究集会	P28	Ⅲー6
		○		知っておきたい！飼育・栽培の基礎知識	P29	Vー8

専門的職務実践力・学習指導等（養護教諭）

A 保健管理 B 保健教育 C 健康相談 D 保健室経営
E 保健組織活動

A	B	C	D	E	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ推薦研修 Ⅵ希望研修	Ⅱ職務研修 Ⅳ特別研修
○				○	フレッシュ研修Ⅰ（養護教諭）	P25	Iー12
	○	○	○		フレッシュ研修Ⅱ（養護教諭）	P25	Iー3
	○				ジャンプアップ研修	P25	Iー4
	○		○	○	ミドルリーダー研修（養護教諭）	P25	Iー13
○	○				養護教諭・保健主事研修会	P27	Ⅱー39
	○				学校保健・安全研修会	P27	Ⅱー40

専門的職務実践力・学習指導（栄養教諭）

F 教科等における教育指導 G 個別的な相談指導 H 学校給食の管理 I 食に関する指導と学校給食の管理の一体的な展開
J 食育コーディネーターとしての連携・調整

F	G	H	I	J	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○		フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	I－2
○			○		フレッシュ研修Ⅱ（栄養教諭）	P25	I－3
○					ジャンプアップ研修（栄養教諭）	P25	I－4
○		○	○	○	ミドルリーダー研修（栄養教諭・学校栄養職員）	P25	I－6
		○	○		栄養教諭・学校栄養職員研修会	P26	Ⅱ－5
○	○			○	食育コーディネーター研修会（栄養教諭1年目）	P26	Ⅱ－6
○	○			○	食育コーディネーター研修会（栄養教諭2年目以上）	P26	Ⅱ－6
		○			徳島県学校給食衛生管理推進研修会	P28	Ⅳ－7
○					ESD～身近な「食」をテーマに考えよう～	P29	V－1

3 担任力・生徒指導

A 児童生徒理解・指導力（小・中・高・養・栄） 幼児児童生徒理解・指導力（特） B 集団づくり力
C 課題解決力 D 未来ビジョン育成力 E 目標の明確化・実践把握力（特） F チームによる組織力（特）

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I－1
○	○	○	○			フレッシュ研修Ⅰ（栄養教諭）	P25	I－2
○	○	○	○			フレッシュ研修Ⅰ（養護教諭）	P25	I－12
○			○	○		フレッシュ研修Ⅱ	P25	I－3
△	△	△	○	○		ミドルリーダー研修	P25	I－5
△	△	△	○			ミドルリーダー研修（栄養教諭・学校栄養職員）	P25	I－6
△	△	△	○			ミドルリーダー研修（養護教諭）	P25	I－13
○		○				通級による指導担当者研修会（1年目）	P26	Ⅱ－7
○		○				通級による指導担当者研修会（2年目）	P26	Ⅱ－7
○		○				通級による指導担当者研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－7
				○		特別支援教育巡回相談員研修会	P26	Ⅱ－8
○	○	○		○		特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	Ⅱ－9
○		○				特別支援教育コーディネーター研修会（1年目）	P26	Ⅱ－10
○		○				特別支援教育コーディネーター研修会（2年目）	P26	Ⅱ－10
	○	○		○		特別支援教育コーディネーター研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－10
○	○	○		○		特別支援学級担任者研修会（視聴肢病言）	P26	Ⅱ－11
○	○	○		○		特別支援学級担任者研修会（知情2年目）	P26	Ⅱ－12
○						特別支援教育地域別事例検討研修会	P26	Ⅱ－13
○						特別支援学校寄宿舎指導員研修会	P26	Ⅱ－14
		○		○		訪問教育担当教員研修会	P26	Ⅱ－15
○						新規採用実習助手研修	P27	Ⅱ－20
○						実習主任・実習助手研修	P27	Ⅱ－21
		○				情報モラル教育研修会	P28	Ⅳ－4
		○				徳島県学校給食衛生管理推進研修会	P28	Ⅳ－7
		○				ESD～身近な「食」をテーマに考えよう～	P29	V－1
○		○				学校カウンセリングゼミナールⅠ「お医者さんに聞きたい～思春期の心のケアと依存症～」	P29	V－2
○		○				学校カウンセリングゼミナールⅡ「教員による教育相談とカウンセリングの技法について」	P29	V－3
		○				第1回特別支援教育アドバンスセミナー「学校で活かすポジティブ行動支援」	P29	V－4
				○		第2回特別支援教育アドバンスセミナー「自立活動の授業づくり」	P29	V－5
	○					第3回特別支援教育アドバンスセミナー「特別支援教育の視点を活かした学級づくりと家庭との連携」	P29	V－6
○						教育支援委員会調査員研修講座	P29	V－7
○		○				帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	Ⅳ－12
○		○				小学校生徒指導主任研修会	P27	Ⅱ－32
○		○				中学校生徒指導主事研修会	P27	Ⅱ－33
○		○				公立高等学校及び特別支援学校生徒指導主事研修会	P27	Ⅱ－34
○		○				教育相談コーディネーター研修会	P27	Ⅱ－35
○		○				チーム学校いじめ防止スキルアップ研修	P28	Ⅳ－10

4 特別な配慮・支援 特別支援の充実

A 個に応じた指導・支援力（小・中・高・養・栄） B チームによる実践（小・中・高・養・栄） C 「わかった」「できた」を育む学習支援力（小・中・養・栄）
D 「わかった」「できた」を育む生活支援力（小・中・養・栄） E 多様性に基づく学習支援力（高） F 多様性に基づく生活支援力（高）
G センター的機能の推進力（特） H 地域貢献力（特）

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I－1, 2, 12
○								フレッシュ研修Ⅱ	P25	I－3
△		○		○				ミドルリーダー研修	P25	I－5, 6, 13
○	○							通級による指導担当者研修会（1年目）	P26	Ⅱ－7

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○							通級による指導担当者研修会（2年目）	P26	Ⅱ－7
○	○							通級による指導担当者研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－7
○		○				○		特別支援教育巡回相談員研修会	P26	Ⅱ－8
○	○	○	○	○	○			特別支援学級担任者研修会（新担任者）	P26	Ⅱ－9
○			○	○				特別支援教育コーディネーター研修会（1年目）	P26	Ⅱ－10
	○							特別支援教育コーディネーター研修会（2年目）	P26	Ⅱ－10
○		○	○	○	○			特別支援教育コーディネーター研修会（3年目以上）	P26	Ⅱ－10
○		○	○	○	○			特別支援学級担任者研修会（視聴肢病言）	P26	Ⅱ－11
○	○	○	○	○	○			特別支援学級担任者研修会（知情2年目）	P26	Ⅱ－12
○		○						特別支援教育地域別事例検討研修会	P26	Ⅱ－13
○	○				○			教育相談コーディネーター研修会	P27	Ⅱ－35
○								学校カウンセリングゼミナールI「お医者さんに聞きたい～思春期の心のケアと依存症～」	P29	V－2
○								学校カウンセリングゼミナールII「教員による教育相談とカウンセリングの技法について」	P29	V－3
○		○	○	○	○			第1回特別支援教育アドバンスセミナー「学校で活かすポジティブ行動支援」	P29	V－4
○		○			○			第2回特別支援教育アドバンスセミナー「自立活動の授業づくり」	P29	V－5
○								教育支援委員会調査員研修講座	P29	V－7

5 ICTの活用

A ICTを学習指導に活用する力 B ICTを効率的な業務の遂行に活用する力

A	B	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	フレッシュ研修Ⅰ	P25	I－1, 2, 12
○		フレッシュ研修Ⅱ	P25	I－3
○		ジャンプアップ研修	P25	I－4
○		ミドルリーダー研修	P25	I－5, 6, 13
○		指導教諭研修（1年目）	P25	Ⅱ－4
	○	県立学校ネットワーク担当者研修会	P26	Ⅱ－16
	○	新規採用実習助手研修	P27	Ⅱ－20
	○	実習主任・実習助手研修	P27	Ⅱ－21
○		徳島県特別支援学校GIGAスクール教科等研究集会	P28	Ⅲ－2
○	○	徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28	Ⅳ－3
○		情報モラル教育研修会	P28	Ⅳ－4
○	○	徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」研修講座	P28	Ⅳ－8

管理職用

素 養

A 使命感・責任感 B 倫理観 C リーダーシップ・決断力 D 先見性・識見 E 社会性・人間関係構築力

A	B	C	D	E	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
		○		○	帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	Ⅳ－12
		○		○	リーダーシップ養成研修	P28	Ⅲ－1
				△	主幹教諭研修（2年目以降）	P25	Ⅱ－2
○	○	○	○	○	主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）1年目	P25	Ⅱ－3
○		○	○	○	主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）2年目	P25	Ⅱ－3
○		○			学校リーダー研修（新任教頭等）任用1年目	P25	Ⅱ－1
○					学校リーダー研修（新任副校長）	P25	Ⅱ－1
○		○			学校リーダー研修（新任校長等）	P25	Ⅱ－1
				△	学校リーダー研修（校長、副校長、教頭）小・中・高・特	P25	Ⅱ－1

学校マネジメント力

A 企画経営力 B 組織づくり力 C 危機管理能力 D 学校資源整備・活用能力 E 人材育成力
F 連携・交渉力 G 職場環境づくり力 H 特別支援教育推進力

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
	○				○			帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	P28	Ⅳ－12
		○						学校防災研修会	P27	Ⅱ－38
		○						学校安全教室並びに学校安全教育指導者研修会	P27	Ⅱ－42
						○		リーダーシップ養成研修	P28	Ⅲ－1
	△	△		△				主幹教諭研修（2年目以降）	P25	Ⅱ－2
○	○		○	○	○			主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）1年目	P25	Ⅱ－3
○	○	○	○	○	○	○		主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）2年目	P25	Ⅱ－3
○	○			○		○	○	学校リーダー研修（新任教頭等）任用1年目	P25	Ⅱ－1
		○						学校リーダー研修（新任教頭等）任用2年目	P25	Ⅱ－1
○	○							学校リーダー研修（新任校長等）	P25	Ⅱ－1
△	△	△	△	△	△	△	△	学校リーダー研修（校長、副校長、教頭）小・中・高・特	P25	Ⅱ－1

				○			指導教諭研修（2年目以降）	P25 Ⅱ－4
	○		○	○		○	徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	P28 Ⅳ－3
		○					学校防災人材育成講座	P28 Ⅳ－6
			○			○	徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」研修講座	P28 Ⅳ－8

幼稚園等教諭用

1 素 養 A 使命感・倫理観 B 識見・学び続ける力 C 社会性・コミュニケーション力 D 組織マネジメント力 E 連携・協働力 F 危機管理能力

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25 Ⅰ－9	
○	○					フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25 Ⅰ－10	
○	○	○	○	○		ミドルリーダー研修（幼稚園教諭・保育教諭）	P25 Ⅰ－11	
				○		徳島県幼稚園教育課程研究協議会	P28 Ⅲ－4	

2 保育力 A カリキュラム・マネジメント力 B 保育構想力 C 保育実践力 D 保育省察力・改善力

A	B	C	D	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25 Ⅰ－9	
	○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25 Ⅰ－10	
○	○	○	○	ミドルリーダー研修（幼稚園教諭・保育教諭）	P25 Ⅰ－11	
○			○	学力向上推進員研修会（幼・認こ・特（幼稚部））	P27 Ⅱ－24	
○	○	○	○	徳島県幼稚園教育課程研究協議会	P28 Ⅲ－4	
	○			保育技術協議会	P28 Ⅲ－8	

3 担任力 A 幼児理解・指導力 B 集団づくり力 C 課題解決力 D 未来ビジョン育成力

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	○			フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25 Ⅰ－9	
○						フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25 Ⅰ－10	
○						保育技術協議会	P28 Ⅲ－8	

4 特別な配慮・支援 A 個に応じた指導・支援力 B チームによる実践力 C 「やってみたい」「やってよかった」を育む支援力

A	B	C	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	○	○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	P25 Ⅰ－9	
○	○		ミドルリーダー研修（幼稚園教諭・保育教諭）	P25 Ⅰ－11	

5 ICTの利活用 A ICTを効果的・効率的に利活用する力

A	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	P25 Ⅰ－10	

管理職（園長）用

素 養 A 使命感・責任感 B 倫理観 C リーダーシップ・決断力 D 先見性・識見 E 社会性・人間関係構築力

A	B	C	D	E	F	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○						幼稚園長等運営管理協議会	P27 Ⅱ－23	
○						幼稚園等マネジメント研修	P28 Ⅲ－9	

組織マネジメント力 A 企画経営力 B 組織づくり力 C 危機管理能力 D 学校資源整備・活用能力 E 人材育成力 F 連携・交渉力 G 職場環境づくり力 H 特別支援教育推進力

A	B	C	D	E	F	G	H	研修講座名	I 基本研修 Ⅲ 推薦研修 Ⅵ 希望研修	Ⅱ 職務研修 Ⅳ 特別研修
○				○				幼稚園長等運営管理協議会	P27 Ⅱ－23	
	○						○	幼稚園等マネジメント研修	P28 Ⅲ－9	

② 研修種別講座

連続性・発展性のある「キャリアステージに応じた研修」と、学習指導要領や喫緊の課題等に対応するための「目的やニーズに応じた研修」の2つを柱に、主体的に学び続け自己を高める教職員を支えるⅠ～Ⅲの多様な研修講座を開設します。

Ⅰ 基本研修 ※日数の欄の数は、「校外における研修」の日数です。研修期日は文書提出の期間を含みます。

【とくしま教員育成指標における資質・能力】については、19ページの「8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス」を参照してください。

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	研 修 期 日	日数	備 考
			目 的			
1	フレッシュ研修Ⅰ	小・中・高・特	新任教諭	令和5年4月～令和6年2月	12	
			新任教員に対して、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
2	フレッシュ研修Ⅰ (栄養教諭)	小・中・特	新任栄養教諭	令和5年4月～令和6年2月	10	
			新規採用栄養教諭に対して、教育公務員特例法第23条の規定に準じて、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
3	フレッシュ研修Ⅱ	小・中・高・特	採用後2年目の教諭・養護教諭・栄養教諭	令和5年5月～令和6年2月	教諭 5.5 養老 3.5	
			採用後2年目の教諭、養護教諭及び栄養教諭に対して、幅広い知見を得ることを通じて、「授業力・学習指導」をはじめとする実践的指導力の向上を図る。			
4	ジャンプアップ研修	小・中・高・特	採用後5年目の教諭・養護教諭・栄養教諭	令和5年4月～令和5年11月	2	
			採用後5年目の教諭等が、広い視野からこれまでの教職経験を振り返り、それぞれの使命を自覚するとともに、教諭等に求められる資質及びICT（1人1台端末等）を活用した実践的指導力の向上と人的ネットワークの構築を図る。			
5	ミドルリーダー研修	小・中・高・特	採用後10年目の教諭	令和5年4月～令和6年2月	4.5	
			教育公務員特例法第24条の規定（一部改正）に基づき、個々の能力、適性等に応じて、教育活動その他の学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。			
6	ミドルリーダー研修 (栄養教諭・学校栄養職員)	小・中・特	採用後10年目の栄養教諭・学校栄養職員	令和5年4月～令和6年2月	4.5	
			教育公務員特例法第24条の規定に準じ、個々の能力、適性等に応じて教育活動その他の学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される栄養教諭、学校栄養職員としての職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。			
7	公立小・中学校新任事務職員研修	小・中	新任学校事務職員	令和5年4月～令和6年2月	7	
			学校事務職員の職務に関する基礎的事項について、理解し、適正な職務の遂行力の向上を図る。			
8	公立小・中学校中堅事務職員研修	小・中	9年を終了した学校事務職員	令和5年10月26日（木）	1	
			9年を終了した学校事務職員に、幅広い視野と知識を付与するとともに、資質向上を図ることにより、中堅としての自覚を高め、職務の円滑な推進に資する。			
9	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅰ）	幼・認可・特（幼稚園部）	新任教諭・新任保育教諭	令和5年4月～令和6年1月	8	学校教育課
			幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、現職研修の一環として、その職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
10	フレッシュ研修Ⅰ（幼稚園等新規採用教諭研修Ⅱ）	幼・認可・特（幼稚園部）	新任教諭・新任保育教諭	令和5年4月～令和5年11月	2.5	学校教育課
			幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、現職研修の一環として、その職務の遂行に必要な事項に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。			
11	ミドルリーダー研修 (幼稚園教諭・保育教諭)	幼・認可	採用後10年目の教諭・保育教諭	令和5年4月～令和5年12月	4.5	学校教育課
			教育公務員特例法第24条及び附則第6条の規定に基づき、個々の能力、適性等に応じて、教育活動その他の幼稚園等の運営において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質・能力の向上を図る。			
12	フレッシュ研修Ⅰ (養護教諭)	小・中・高・特	新任養護教諭	令和5年4月～令和6年2月	10	体育健康安全課
			新規採用の養護教諭に対して、教員としての基礎的教養を身に付けさせ、使命感と幅広い知見を得させるとともに、学校保健に関する専門的な知識・技能を習得させ、職務を適切に遂行することのできる資質の向上を図る。			
13	ミドルリーダー研修 (養護教諭)	小・中・高・特	採用後10年目の養護教諭	令和5年4月～令和6年2月	4.5	体育健康安全課
			近年の社会状況の変化に伴い、児童生徒の心身の健康問題は複雑・多様化している。養護教諭には、学校保健に関して校内や地域において指導的役割が期待されることから、ミドルリーダー研修を通して、より一層専門性を高めるとともに幅広い教養を身に付け、学校保健活動の中核的役割を果たせるよう資質の向上を図る。			

※背景が の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

Ⅱ 職務研修

【とくしま教員育成指標における資質・能力】については、19ページの「8 キャリアステージに応じ、育成を目指す資質・能力と研修講座のマトリックス」を参照してください。

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	研 修 期 日	日数	備 考
1	学校リーダー研修	小・中・高・特	校長、副校長、教頭	令和5年6月12日（月）、6月19日（月）、6月28日（水）、7月7日（金）、7月14日（金）、8月4日（金）、9月12日（火）	0.5	選択制。6月28日（水）、8月4日（金）、9月12日（火）は同期型オンライン研修。7月14日（金）は事務グループリーダー研修と合同開催。
		小・中・高・特	新任校長等	令和5年4月26日（水）	1	
		小・中・高・特	新任副校長	令和5年4月28日（金）～5月31日（水）	0.5	教職員支援コンテンツによる研修
		小・中・高・特	新任教頭等（任用1年目）	令和5年4月28日（金）～6月30日（金） 令和5年5月22日（月）、12月11日（月）	2	会場は2日とも総合教育センター
		小・中・高・特	新任教頭等（任用2年目）	令和5年6月26日（月）	0.5	会場は総合教育センター
2	主幹教諭研修	小・中	主幹教諭任用2年目以降	令和5年7月19日（水）、9月26日（火）、11月22日（水）	0.5	選択制 会場は鳴門教育大学
3	主幹教諭研修（令和2年度より主幹教諭として任用された者）	小・中・高・特	主幹教諭任用1年目	令和5年4月17日（月）、5月24日（水）、7月4日（火）、9月某日、10月某日、11月15日（水）、12月12日（火）	7	会場は四国地区教職アライアンス鳴門教育大学センター
		小・中	主幹教諭任用2年目	令和5年5月24日（水）、6月27日（火）、7月19日（水）、9月26日（火）、11月22日（水）、12月26日（火）、令和6年1月某日	7	会場は四国地区教職アライアンス鳴門教育大学センター
4	指導教諭研修	小・中・高・特	指導教諭任用1年目	令和5年4月11日（火）、7月21日（金）、12月25日（月）	2.5	会場は鳴門教育大学
			指導教諭任用2年目以降	令和5年12月6日（水）、12月8日（金）のうち割り当てられた0.5日	0.5	会場は総合教育センター

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
5	栄養教諭・学校栄養職員研修会	小・中・特	栄養教諭・学校栄養職員	素養 (A) / 専門 (H・I)	令和5年5月29日 (月)	0.5	
6	食育コーディネーター研修会	小・中	栄養教諭1年目	専門 (F・G・J)	令和5年6月21日 (水) 午前	0.5	第1回研修会
					令和5年6月21日 (水) 午後	0.5	第2回研修会
			栄養教諭2年目以上	専門 (F・G・J)	令和6年2月13日 (火) 午後	0.5	第3回研修会：オンラインにより開催
					令和5年6月21日 (水) 午後	0.5	オンラインにより開催
7	通級による指導担当者研修会	小・中	通級による指導担当者	1年目 素養 (A・E) / 授業力 (B・C) / 担任力 (A・C) / 特支 (A・B)	令和5年4月12日 (水), 5月17日 (水), 10月6日 (金), 夏季休業中	2.5	4月12日, 夏季休業中のものはオンライン開催
				2年目 素養 (B・E) / 授業力 (B・C) / 担任力 (A・C) / 特支 (A・B)	令和5年5月17日 (水), 6月20日 (火), 夏季休業中	2	夏季休業中のものはオンライン開催
				3年目以上 素養 (E) / 担任力 (A・C) / 特支 (A・B) / 授業力 (C)	令和5年5月17日 (水), 夏季休業中	1.5	夏季休業中のものはオンライン開催
8	特別支援教育巡回相談員研修会	小・中・特	特別支援教育巡回相談員	第1回 (小・中) 素養 (A) 特支 (A), (特) 素養 (A) / 特支 (G) 第2回 (選択) 特別支援教育アドバンスセミナーに準じる 第3回 (小・中) 素養 (B) 特支 (C), (特) 素養 (B) / 担任力 (E) 第4回 (小・中) 素養 (E) 特支 (A), (特) 素養 (E) / 特支 (G)	第1回: 令和5年4月17日 (月) 第2回: 令和5年7月21日 (金), 7月27日 (木), 8月4日 (金) のうち1回 第3回: 令和5年9月13日 (水) 第4回: 令和6年1月5日 (金)	2 (5 年目 以上 1.5)	第1回, 第3回, 第4回は集合研修 第2回はオンライン研修で3回の内1回を選択 第3回は, 担当1から4年目対象
9	特別支援学級担任者研修会 (新担任者)	小・中	特別支援学級新担任者	素養 (A・E) / 授業力 (B・C・D) / 担任力 (A・B・C・E) / 特支 (A・B・C・D・E・F)	第1回 令和5年4月14日 (金) 第2回 令和5年5月15日 (月) 小学校 令和5年5月24日 (水) 中学校 第3回 令和5年5月～11月障がい種別 第4回 令和5年夏季休業中	3.5	第1回, 第4回はオンライン開催 第3回は障がい種別ごとに開催
10	特別支援教育コーディネーター研修会	幼・小・中・高・特	特別支援教育コーディネーター	1年目 (小・中・高) 担任力 (A・C) / 特支 (A・D) (特) 担任力 (A・C) / 特支 (E)	第1回 令和5年5月19日 (金) 第2回 令和5年9月6日 (水) もしくは9月11日 (月) いずれか1日を選択	1	第1回はオンラインによる開催。 第2回は集合研修。2日のうち1日を選択。 第1回, 第2回ともにPMのみ0.5日
				2年目 担任力 (A・C) / 特支 (B)	第1回 令和5年5月31日 (水) 第2回 令和5年12月5日 (火) もしくは12月13日 (水) いずれか1日を選択	1	第1回はオンラインによる開催。 第2回は集合研修。2日のうち1日を選択。 第1回, 第2回ともにPMのみ0.5日
				3年目以上 【講座1】 (小・中) 特支 (A・C・D), (特) 授業力 (D) / 担任力 (C), (高) 特支 (A・E・F) 【講座2】 (小・中) 特支 (A・C), (特) 授業力 (C) / 担任力 (E), (高) 特支 (A・F) 【講座3】 素養 (E) / 担任力 (B)	令和5年7月21日 (金), 7月27日 (木), 8月4日 (金) のいずれか1日を選択	0.5	3日のうち1日を選択。 すべてオンラインにより開催。 7月21日, 8月4日の講座はAMのみ0.5日。 7月27日の講座はPMのみ0.5日。
11	特別支援学級担任者研修会 (視聴肢病言)	小・中	肢体不自由学級担任者	素養 (A・E) / 授業力 (B・C・D) / 担任力 (A・B・C・E) / 特支 (A・C・D・E・F)	第1回 令和5年4月17日 (月) 第2回 令和5年5月～6月 第3回 令和5年夏季休業中	2	第1回, 第3回はオンライン開催 第2回は障がい種別ごとに開催
			病弱・身体虚弱学級担任者			2	
			弱視学級担任者			2	
			難聴学級担任者			2	
12	特別支援学級担任者研修会 (知情2年目)	小・中	経験2年目で知的障がい学級, 自閉症・情緒障がい学級担任者	素養 (B・E) / 授業力 (B・C・D) / 担任力 (A・B・C・E) / 特支 (A・B・C・D・E・F)	第1回 令和5年6月2日 (金) 第2回 令和5年夏季休業中 第3回 令和5年9月～10月 第4回 令和5年9月～12月	2	第2回, 第3回はオンライン開催 第3回は校種別に開催 第4回は地域別に開催
			経験3年目以上で知的障がい学級, 自閉症・情緒障がい学級担任者			0.5	
13	特別支援教育地域別事例検討研修会	小・中	経験3年目以上で知的障がい学級, 自閉症・情緒障がい学級担任者	担任力 (A) / 特支 (A・C)	令和5年夏季休業中	0.5	グループ別, オンライン開催
14	特別支援学校寄宿舎指導員研修会	特	寄宿舎指導員	素養 (F) / 担任力 (A)	令和5年7月24日 (月)	0.5	
15	訪問教育担当教員研修会	特	訪問教育担当教員	担任力 (C・E)	令和5年8月4日 (金)	0.5	
16	県立学校ネットワーク担当者研修会	中・高・特	ネットワーク担当者	素養 (A・F) / ICT (B)	令和5年4月27日 (木) ～ 4月28日 (金)	0.5	オンラインにより開催
17	公立小・中学校事務グループリーダー・共同学校事務室長研修	小・中	事務グループリーダーまたは, 共同学校事務室のリーダーの指定を受けているもの		令和5年7月14日 (金)	0.5 1	0.5日は新任事務室長 1日はその他のグループリーダー 学校リーダー研修と合同開催 (午後から)
18	公立小・中学校事務職員研修会	小・中	事務職員		令和5年5月18日 (木)	1	
19	県立学校技師等研修	高・特	県立学校技師等		令和5年8月4日 (金)	0.5	

9 研修講座の紹介

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
20	新規採用実習助手研修	高・特	新任実習助手	素養 (A・B・C・F) / 授業力 (C) / 担任力 (A) / ICT (B)	令和5年4月～令和6年1月	2.5	
21	実習主任・実習助手研修	高・特	実習主任・実習助手	素養 (A・B・C・F) / 授業力 (C) / 担任力 (A) / ICT (B)	令和5年7月11日 (火)	1	オンラインにより開催
22	県立学校事務転職員研修	高・特	県立学校に勤務する技能労務職から行政職に転職した者		令和5年7月下旬から11月下旬頃	1	教育政策課
23	幼稚園長等運営管理協議会	幼・認可	新任園長等	素養 (A) / マネジメント (A・E)	令和5年5月12日 (金) オンライン 令和5年6月21日 (水) 午後 鳴門教育大学附属幼稚園	0.5 0.5	学校教育課
24	学力向上推進員研修会	幼・認可 特 (幼稚園)	学力向上推進員	保育力 (A・D)	令和5年6月15日 (木) 午後オンライン 令和6年1月5日 (金) 午後	0.5 0.5	学校教育課
		小・中	学力向上推進員	素養 (D) / 授業力 (A・B・C・D)	令和5年6月16日 (金)	0.5	学校教育課
		高	学力向上推進員	授業力 (A・B・C・D)	令和5年6月9日 (金)	0.5	学校教育課
		特	学力向上推進員	素養 (D) / 授業力 (A・C)	令和5年6月7日 (水)	0.5	オンラインにより開催
25	小学校国語科・算数科授業づくり研修会	小	教諭等	授業力 (B・C・D)	北・東部 令和5年10月23日 (月) 西部 令和5年10月25日 (水) 会場未定 南部 令和5年10月24日 (火) 会場未定	0.5	学校教育課
26	中学校国語科授業づくり研修会	中	教諭等	授業力 (B・C・D)	令和5年11月6日 (月)	0.5	学校教育課
27	中学校数学科授業づくり研修会	中	教諭等	授業力 (B・C・D)	令和5年11月7日 (火)	0.5	学校教育課
28	中学校英語科授業づくり研修会	中	教諭等	授業力 (B・C・D)	令和5年11月10日 (金)	0.5	学校教育課
29	道徳教育推進教師研修会	小特 (小学部) 中特 (中学部)	道徳教育推進教師	授業力 (A・B・C)	令和5年10月3日 (火) (西部) 会場未定 令和5年10月6日 (金) (南部) 会場未定 令和5年10月10日 (火) (北部) 会場未定 令和5年10月13日 (金) (東部) 会場未定 令和5年9月19日 (火) (北部) 会場未定 令和5年9月22日 (金) (東部) 会場未定 令和5年9月26日 (火) (西部) 会場未定 令和5年9月28日 (木) (南部) 会場未定	0.5	学校教育課
30	公立高等学校及び特別支援学校道徳教育推進教師研修会	高・特	道徳教育推進教師	素養 (D) / 授業力 (A・B・C)	令和5年6月8日 (木)	0.5	学校教育課
31	人権教育主事研修会	小・中	人権教育主事1年目	素養 (A・C) / 授業力 (C)	第1回 令和5年5月8日 (月)	0.5	人権教育課
			人権教育主事		第2回 令和5年10月～11月 (未定)	0.5	
			人権教育主事		第3回 令和6年1月16日 (火)	0.5	
		高・特	人権教育主事1年目	素養 (A・C) / 授業力 (C)	第1回 令和5年4月19日 (水)	0.5	
			人権教育主事		第2回 令和5年10月25日 (水) 鳴門高校	0.5	
			人権教育主事		第3回 令和6年1月24日 (水)	0.5	
32	小学校生徒指導主任研修会	小	生徒指導主任	担任力 (A・C)	令和5年5月16日 (火)	0.5	人権教育課
33	中学校生徒指導主事研修会	中	生徒指導主事	担任力 (A・C)	令和5年5月23日 (火)	0.5	人権教育課
34	公立高等学校及び特別支援学校生徒指導主事研修会	高・特	生徒指導主事	担任力 (A・C)	令和5年6月8日 (木)	0.5	人権教育課
35	教育相談コーディネーター研修会	小・中・高・特	教育相談コーディネーター	素養 (E) / 担任力 (A・C) / 特支 (A・B・F)	第1回 令和5年5月17日 (水) 午後 第2回 令和5年11月15日 (水) 午後	0.5 0.5	人権教育課 すべてオンラインにより開催
36	熱中症講習会	小・中・高・特	教諭等	素養 (F)	令和5年5月15日 (月)	0.5	体育健康安全課 オンラインにより開催
37	スポーツ施設等安全管理講習会	小・中・高・特	教諭等	素養 (F)	令和5年5月22日 (月)～5月31日 (水)	0.5	体育健康安全課 オンデマンドにより開催
38	学校防災研修会	小・中・高・特	学校防災担当者	(教諭) 素養 (F) (管理職) マネジメント (C)	令和5年5月30日 (火)	0.5	体育健康安全課
39	養護教諭・保健主事研修会	小・中・高・特	養護教諭・保健主事	素養 (D) / 専門 (A・B)	令和5年5月26日 (金)	1	体育健康安全課
40	学校保健・安全研修会	小・中・高・特	養護教諭	素養 (F) / 専門 (B)	令和6年2月22日 (木)	1	体育健康安全課
41	学校食育推進研修会	小・中・高・特	食育担当者	素養 (E) / 授業力 (A)	令和6年2月2日 (金)	0.5	体育健康安全課
42	学校安全教室並びに学校安全教育指導者研修会	小	交通安全教育・生活安全教育担当者	(教諭) 素養 (F) (管理職) マネジメント (C)	令和5年10月25日 (水)	0.5	体育健康安全課

※背景が の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

※幼稚園等の【とくしま教員育成指標における資質・能力】は、徳島県教育委員会学校教育課作成の「幼稚園教諭 教員育成指標モデル」「幼稚園等管理職等 教員育成指標モデル」に拠ります。

Ⅲ 推薦研修

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
1	リーダーシップ養成研修	小・中・高・特	教諭等	(教諭) 素養 (A・D・E) (管理職) 素養 (C) (教諭) 素養 (D) (管理職) 素養 (C・E) / マネジメント (G)	令和5年6月30日 (金) 令和5年12月15日 (金)	2	小学校・中学校教諭等は所属市町村教育長の推薦による 高等学校・特別支援学校教諭等は所属学校長の推薦による
2	徳島県特別支援学校GIGAスクール教科等研究会	特	教諭等	素養 (B) / 授業力 (A) / ICT (A)	令和5年7月31日 (月)	0.5	M
3	複式学級指導者研修講座	小・中	教諭等	素養 (A) / 授業力 (B・C)	令和5年8月2日 (水)	0.5	学校教育課 オンラインにより開催
4	徳島県幼稚園教育課程研究協議会	幼・認可・保特 (幼稚園)	教諭等・保育士	素養 (E) / 保育力 (A・B・C・D)	令和5年7月31日 (月)	1	学校教育課 M
5	徳島県小学校GIGAスクール教科等研究会	小	教諭等	授業力 (A・B・C・D)	令和5年7月24日(月)又は7月25日(火)	0.5	学校教育課 M
6	徳島県中学校GIGAスクール教科等研究会	中	教諭等	授業力 (A・B・C・D)	令和5年7月27日(木)又は7月28日(金)	0.5	学校教育課 M
7	徳島県高等学校GIGAスクール教科等研究会	高・特	教諭等	授業力 (A・B・C・D)	令和5年8月1日 (火) 又は2日 (水)	1	学校教育課 M
8	保育技術協議会	幼・認可・保特 (幼稚園)	教諭等・保育士	保育力 (B) / 担任力 (A)	令和5年6月29日 (木) 午後	0.5	学校教育課 M
9	幼稚園等マネジメント研修	幼・認可・保特 (幼稚園)	教諭等・保育士	(管理職) 素養 (A) / マネジメント (B・H)	令和5年7月27日 (木)	1	学校教育課 M
10	水泳指導者講習会	小・中	採用後10年以内、または教職経験10年以内であり、今までに受講していない教員	授業力 (B・C)	令和5年6月9日 (金)	1	体育健康安全課 M
11	学校体育指導者講習会	小・中・高・特	教諭等	授業力 (B・C)	令和5年7月27日 (木)	1	体育健康安全課 M
12	薬物乱用防止教育研修会	小・中・高・特	教諭等	素養 (F)	令和5年10月5日 (木)	0.5	体育健康安全課 オンラインにより開催 M

Ⅳ 特別研修

No	研 修 講 座 名	対象校種	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】	研 修 期 日	日数	備考
1	つながる外国語教育！小中高連携EX研修	小・中・高・特	教諭等	授業力 (B・C)	令和5年7月3日 (月)、4日 (火) のうち割り当てられた1日	1	M
2	小学校外国語専科教員研修会	小	担任以外の外国語指導を担当している教員	授業力 (B・C)	令和5年8月2日 (水)	1	外部会場
3	徳島県GIGAスクール構想推進者研修講座	小・中・高・特	管理職 教諭等	(管理職) マネジメント (B・D・E・G) (教諭) 素養 (B) / 授業力 (A・B・C) / ICT (A・B)	令和5年5月10日 (水) 小学校 17日 (水) 中学校 12日 (金) 県立学校	0.5	オンラインにより開催
4	情報モラル教育研修会	小	教諭等	素養 (F) / 授業力 (A) / 担任力 (C) / ICT (A)	令和5年8月4日 (金)	0.5	オンラインにより開催
5	新学習指導要領に対応した教科情報指導者研修	高・特	教諭等	授業力 (B・C・D)	令和5年10月初旬から令和5年12月下旬 (指定の日) に0.5日を3回	1.5	オンラインにより開催
6	学校防災人材育成講座	小・中・高・特	教諭等	(教諭) 素養 (F) (管理職) マネジメント (C)	令和5年7月 (未定) 半日 (普通救命講習未受講者) 令和5年7月31日 (月) 半日 令和5年8月9日 (水)、10日 (木)	2.5	
7	徳島県学校給食衛生管理推進研修会	小・中・特	教職員	素養 (F) / 専門 (H) / 担任力 (C)	令和5年7月21日 (金) 総合教育センター 令和5年7月27日 (木) 南部会場 令和5年7月28日 (金) 西部会場	0.5	3日のうち1日を指定
8	徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」研修講座	小・中	教諭等	(管理職) マネジメント (D・G) (教諭) ICT (A・B) (養護教諭) ICT (A・B)	令和5年4月19日 (水) 小中学校の新任教頭及び希望する管理職 令和5年5月17日 (水) 小学校の新任教諭及び希望する小学校の教職員 令和5年5月19日 (金) 中学校の新任教諭及び希望する中学校の教職員 令和5年4月14日 (金) 小中学校の新任養護教諭及び希望する養護教諭、養護助教諭	0.5	オンラインにより開催
9	“あわ”じんけん講座 (指導力充実講座)	幼・小・中・高・特	教諭等 8年目	素養 (C・E) / 授業力 (C)	令和5年7月～8月 (未定)	1	人権教育課
10	チーム学校いじめ防止スキルアップ研修	小・中・高・特	教諭等	素養 (A・E) / 担任力 (A・C)	令和5年10月24日 (火)	0.5	人権教育課
11	あわ文化教育リーダー研修	中	教諭等	授業力 (A・B)	令和5年6月2日 (金) オンライン開催	0.5	学校教育課 オンラインにより開催
12	帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座	小・中・高・特	副校長・教頭等 教職員	素養 (C・E) / マネジメント (B・F) 素養 (C・E) / 担任力 (A・C)	令和5年5月31日 (水) 午前 令和5年5月31日 (水) 午後	0.5	学校教育課 オンラインにより開催

※備考欄の **M** マークのついている研修講座はミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

※背景が  の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

※幼稚園等の【とくしま教員育成指標における資質・能力】は、徳島県教育委員会学校教育課作成の「幼稚園教諭 教員育成指標モデル」「幼稚園等管理職等 教員育成指標モデル」に拠ります。

V 希望研修

No	研 修 講 座 名			目 的 ・ 内 容 等	日数	備 考
	研 修 期 日	定 員	対象校種			
	研 修 場 所	対象職種等	【とくしま教員育成指標における資質・能力】			
1	ESD ～身近な「食」をテーマに考えよう～			ESDを食育の視点から考えましょう。令和5年度は、一日を通して「エシカル消費と食品ロス」をテーマに実施します。午前は、食品ロスに配慮した調理にチャレンジします。午後は、エシカル消費や食品ロスに関する講義と演習を行います。※実習材料費が必要です。	1	M
	令和5年7月31日（月）	16	小・中・高・特			
	総合教育センター	教職員	授業力（B）/専門（F）/担任力（C）			
2	学校カウンセリングゼミナールⅠ 「お医者さんに聞きたい～思春期の心のケアと依存症～」			教職員が児童生徒の不登校の背景にある精神疾患、心身症、発達障がい、依存症に気付いて対応することは、子どもたちの大きな支えになります。教職員は子どものメンタルヘルスに関わる一員です。お医者さんから聞く具体例や解説から子どもの心身の状態を正しく理解し、いじめや不登校に悩む思春期の子どもたちと保護者の心に寄り添う支援について学びましょう。	1	M
	令和5年7月27日（木）	60	小・中・高・特			
	徳島県教育会館	教職員	担任力（A・C）/特支（A）			
3	学校カウンセリングゼミナールⅡ 「教員による教育相談とカウンセリングの技法について」			教育相談は、スクールカウンセラーや専門的なスキルをもった特定の教職員だけがするものではありません。全ての教職員があらゆる教育活動の実践の中で、子どもたちに対して教育相談的に関わり、配慮をしていくことが求められています。講義や演習を通して、毎日の教育活動の中で子どもたちや保護者の悩みに寄り添い支援していく教育相談的な関わりの手法について学びましょう。	1	M
	令和5年8月3日（木）	50	小・中・高・特			
	徳島県教育会館	教職員	担任力（A・C）/特支（A）			
4	第1回特別支援教育アドバンスセミナー 「学校で活かすポジティブ行動支援」			ポジティブ行動支援のポイントは、望ましい行動を増やし、子どもの成功と達成を実現するための仕掛けづくりです。事例報告や分科会（1困った行動への支援、2授業改善、3コミュニケーション・SST）をとおして、学校で活かせるポジティブ行動支援を学びましょう。 ※事例報告はR5年1月12日に開催した「特別支援教育実践研究報告会」の特別支援学級2事例の動画視聴となります。その後の各分科会は、講師とリアルタイムでつないでの研修です。※研修講座申込みシステムからの申込みはできません。 総合教育センター HP>教育相談・特別支援>特別支援まなびの広場>特別支援教育アドバンスセミナーから申し込んでください。（「特別支援まなびの広場」を検索してもアクセスできます。）申込みは5月8日から受け付けます。	0.5	オンラインにより開催 M
	令和5年7月21日（金）	上限なし	幼・小・中・高・特			
	総合教育センター	教職員	（小・中）特支（A・C・D） （高）特支（A・E・F） （特）授業力（D）/担任力（C）			
5	第2回特別支援教育アドバンスセミナー 「自立活動の授業づくり」			「自立活動」は特別支援学校、特別支援学級、通級による指導の教育課程において、特別に設けられた指導領域です。小・中学校の学習指導要領にも明記され、障がいのある児童生徒一人一人のニーズに応じた指導をする上で、自立活動がこれまで以上に重視されています。「自立活動って何?」、「自立活動の指導は具体的に何をすれば良い?」、「自立活動の指導計画の立て方は?」。そんな自立活動の基礎や事例について学びましょう。 ※研修講座申込みシステムからの申込みはできません。 総合教育センター HP>教育相談・特別支援>特別支援まなびの広場>特別支援教育アドバンスセミナーから申し込んでください。（「特別支援まなびの広場」を検索してもアクセスできます。）申込みは5月8日から受け付けます。	0.5	オンラインにより開催 M
	令和5年7月27日（木）	上限なし	幼・小・中・高・特			
	総合教育センター	教職員	（小・中）特支（A・C） （高）特支（A・F） （特）授業力（C）/担任力（E）			
6	第3回特別支援教育アドバンスセミナー 「特別支援教育の視点を活かした学級づくりと家庭との連携」			担任として一人一人のニーズに応じるためには、個別の支援はもちろんのこと、学級としての運営をどのようにすれば良いのかを考えることも大切です。そこで本研修の前半は、集団の強みを活かした学びをどのように創っていくかについて考えます。また、特別支援教育では学校と保護者との連携が重要です。そこで後半は、保護者との連携のポイントや、情報共有するための連絡ノートの具体的な活用方法などについて学びます。 ※研修講座申込みシステムからの申込みはできません。 総合教育センター HP>教育相談・特別支援>特別支援まなびの広場>特別支援教育アドバンスセミナーから申し込んでください。（「特別支援まなびの広場」を検索してもアクセスできます。）申込みは5月8日から受け付けます。	0.5	オンラインにより開催 M
	令和5年8月4日（金）	上限なし	幼・小・中・高・特			
	総合教育センター	教職員	（小・中・高・特）素養（E）/担任力（B）			
7	教育支援委員会調査員研修講座			障がいのある幼児児童生徒の就学にかかる教育支援に必要な理論と技法を習得し、教育調査等の活動を行う市町村教育支援委員会調査員のための研修です。今年度、市町村教育支援委員会調査員として活動する予定のある方が対象で、市町村教育委員会からの推薦が必要です。 ※総合教育センター Webサイト上からの申込みはできません。	2～3	第2回と第3回については選択
	第1回 令和5年5月30日(火) 総合教育センター	40 教職員	幼・小・中			
	第2回 令和5年6月14日(水) 総合教育センター		素養（A・B）/担任力（A）/ 特支（A）			
	第3回 令和5年6月28日(水) 総合教育センター					
	第4回 令和5年7月11日(火) 総合教育センター					
8	知っておきたい！飼育・栽培の基礎知識			飼育・栽培の実践に役立つ研修です。動物との関わり方や適正な飼育の在り方について学びましょう。日頃悩んでいることについて情報交換をしながら、楽しく飼育・栽培についての理解を深めましょう。 ※実習材料費が必要な場合があります。	0.5	学校教育課 M
	令和5年8月4日（金）	20	幼・小・特			
	総合教育センター	教職員	授業力（C）			
9	“あわ” じんけん講座			人権教育指導者用手引書「“あわ” 人権学習ハンドブック」の効果的な活用を図り、人権学習の授業改善につながる体験的参加型学習を進めるためのワークショップ活用の力量を高めましょう。	0.5	人権教育課
	令和5年8月4日（金）	30	幼・小・中・高・特			
	総合教育センター	教職員	素養（C）/授業力（B・C）			

※備考欄の M マークのついている研修講座はミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

※背景が の研修講座は、備考欄に書かれている課が担当しています。欠席届は担当の課へ提出してください。

VI 教育職員免許法認定講習等

No	講習名	研修期日	研修場所	対象校種等	対象職種等	日数	定員
1	肢体不自由児教育総論	令和5年7月25日（火）・26日（水）	北島町役場	実施要項に記載		2	85
2	知的障がい児教育総論	令和5年7月27日（木）・28日（金）	27日ろうきんホール 28日徳島県教育会館			2	85
3	重複・LD等教育総論	令和5年8月1日（火）・2日（水）	1日ろうきんホール 2日北島町役場			2	85
4	特別支援教育の基礎理論	令和5年8月3日（木）・4日（金）	3日北島町役場 4日総合教育センター			2	85
5	病弱児教育総論	令和5年8月7日（月）・8日（火）	総合教育センター			2	85
6	聴覚障がい児教育総論	令和5年8月16日（水）・17日（木）	総合教育センター			2	85
7	視覚障がい児教育総論	令和5年8月24日（木）・25日（金）	総合教育センター			2	85

※申込み期間、申込方法、対象職種等について、実施要項（5月中旬に配付予定）を御覧ください。

講習名	研修期日	研修場所	対象校種等	対象職種等	日数	定員
社会教育主事講習	令和5年8月予定	香川大学		実施要項に記載	未定	未定

VII 大学・研究機関等研修等

No	研修講座名	研修場所	対象校種	対象職種等	研修期日	定員	目的・内容等	日数	備考
1	総合教育センターWebサイトに掲載される「大学・研究機関等研修予定表」を御覧ください。	鳴門教育大学 徳島大学 徳島文理大学 四国大学 徳島工業短期大学 農業大学校 徳島県立博物館 阿南市科学センター あすたむらんど徳島 徳島県消費者情報センター 徳島県立農林水産総合技術支援センター 徳島税務署	幼・小・中・高・特	教職員	各実施機関の指定する日	各実施機関の設定する定員	詳細については、総合教育センターWebサイトに掲載の実施要項を御覧ください。	1または0.5	M 免外可

研修講座名	研修場所	対象校種 対象職種等	定員	目的・内容等	日数	備考
鳴門教育大学・四国大学「小学校英語の専門人材育成プログラム」	鳴門教育大学 四国大学	小学校教員として3年以上の勤務経験を有するもの	各科目40名	この講習は文部科学省の「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業（小学校外国語のための免許法認定講習等実施事業）」の委託を受け、鳴門教育大学と四国大学が連携して実施するものです。令和2年度から始まった小学校外国語教育（外国語活動、外国語科）への対応、また、小中学校間の外国語（英語）教育の円滑な接続を図るため、本事業では、小学校外国語教育の授業実施に求められる英語指導力および英語力の向上に資するプログラムを開講し、小学校外国語教育に中心となって対応できる教員を養成することを目的としています。	必要な科目の単位（14単位）を修得することにより、2年間で中学校教諭二種免許状（英語）を取得することが可能です。	所定の期日までに必要書類を四国大学へ郵送してください。受講申込書は鳴門教育大学ウェブページ又は四国大学ウェブページからダウンロードしてください。オンラインにより開催

VIII 自主研修

No	研修講座名	研修場所	対象校種	対象職種等	研修期日	定員	目的・内容等	日数	備考
1	カリキュラム・カフェ（カリカフェ）～授業改善のための土曜セミナー～	総合教育センター GIGAスタジオ他	幼・小・中・高・特	教職員	長期休業日を除く第2第4土曜日	各講座24	詳細については、総合教育センターホームページに掲載の実施要項を御覧ください。	各0.5	オンラインでの受講も可。 免外可
2	サタデー ICT教室	総合教育センター パソコン研修室他	小・中	教職員	令和5年5月 令和5年6月 令和5年10月 令和6年3月	各講座20	徳島県公立小中学校「学校業務支援システム」の基本的な操作方法や活用方法の習得を、講義と実習を通して支援します。	各0.5	免外可
3	英語教育セミナー in 徳島2023	総合教育センター（オンラインでの配信も行う）	小・中・高・特	英語教育に携わる教職員	令和5年12月9日（土）	50名予定	研修内容を英語教育の喫緊の課題やニーズに合わせたものとし、英語教育の一層の推進を目指します。	0.5	オンラインでの受講は人数制限を設けません。 免外可

IX 受託研修

No	研修講座名	研修場所	対象校種	対象職種等	研修期日	定員	目的・内容等	備考
1	ICT学校サポート講座	総合教育センター パソコン研修室他	幼・小・中・高・特	教職員	要望に応じて随時0.5日	2名以上	学校や研究会などで、ホームページの運用やサーバの管理、学校業務支援システムの操作・活用、電子黒板等やタブレット端末などのICT機器の活用方法、授業支援アプリの活用方法、ExcelやPowerPointの基本操作、デジタル教材の作成など、授業や校務で今すぐ必要なICT活用に関する研修を要望に応じて実施します。	※実施希望日の3週間前までにGIGAスクール推進課までお問い合わせください。 免外可

※備考欄の「M」マークのついている研修講座はミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

※備考欄の「免外可」は、免許外担当者にも積極的な受講を勧めている研修講座です。

※研修で各校（園）のパソコン（タブレット端末等）を使用する際は、各校（園）のセキュリティポリシーを遵守してください。

10 研修講座申込みシステムからの申込み

総合教育センターWebサイト上の研修講座申込みシステムからの申込みについては、次の要領で行ってください。

(1) 入力方法

ア 総合教育センターホームページの「教職員研修講座」をクリックしてください。

徳島県立総合教育センター
〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7
電話：088-672-5000
ファクシミリ：088-672-5005
E-mail webmaster@mt.tokushima-ed.jp

ホーム 生涯学習 **教職員研修講座** 教職員支援・学校支援 教育相談・特別支援 GIGAスクール推進

教職員研修講座

このページは、教職員向け研修・講座についてのページです。

年間計画 講座要項 研修資料 e-ラーニング
講座申込 提出書類のダウンロード 小英サポートデスク 教職員支援コンテンツ

申込みは、ここをクリック

実施要項の閲覧は、ここをクリック

イ 右上の「ログイン」をクリックしてください。

徳島県立総合教育センター 研修講座申込みシステム

トップページ メインメニュー お知らせ 申込み状況 研修講座実施要項

研修講座の申込みは、この画面右上の「ログイン」をクリックし、各学校の申し込み用「ユーザーID」と「パスワード」を入力してログインしてください。ログインが成功している場合は、画面右上に「ログアウト」と表示されています。

ログイン

ここをクリック

ログイン

ウ ユーザー IDとパスワードを入力後、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ユーザーIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリック

ログイン

ユーザーIDとパスワードを入力してください

ユーザーID: 100000

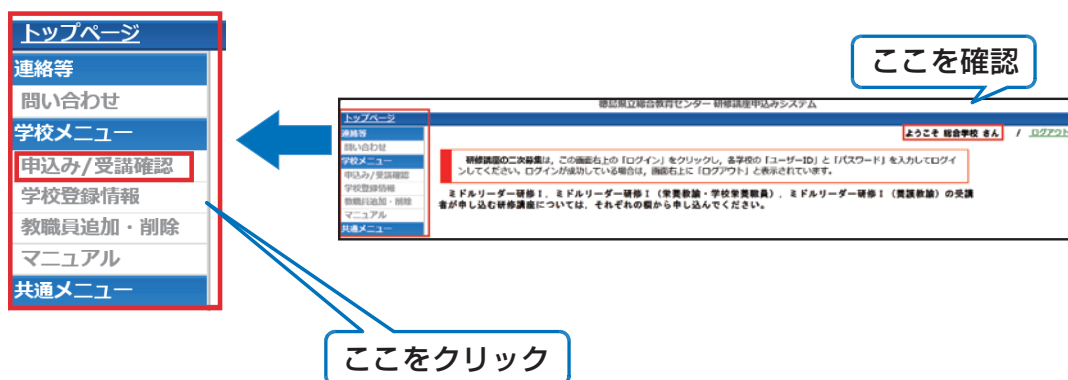
パスワード:

ログイン キャンセル

ログインを中止するにはキャンセルボタンをクリックしてください。ブラウザの「戻る」ボタンでは中止できません。

※本年度のユーザー IDとパスワードについては、4月下旬に各学校長に送付します。

- エ 右上に「ようこそ〇〇学校さん」と表示されればログインできています。左側のメニューの「学校メニュー」の欄の「申込み／受講確認」をクリックし、申し込んでください。



(2) 対象研修講座

研修講座申込みシステムにより、申込みを行う研修講座は、次のとおりです。

- ①基本研修〔ミドルリーダー研修の各講座〕
- ②特別研修〔「帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導研修講座」〕
- ③希望研修〔「教育支援委員会調査員研修講座」を除いた研修講座〕
- ④大学・研究機関等研修〔すべての研修講座〕

(3) 申込み期間

5月8日（月）午前10時～5月19日（金）午後5時

(4) 申込み方法

申込みは、各学校の入力担当者が学校長の承認を得て、本年度配付された「ユーザー ID」と「パスワード」で「研修講座申込みシステム」にログインし、教職員が希望する研修講座を一括して入力してください。
 その際、ミドルリーダー研修受講者が選択研修として申し込む研修講座については、必ず「ミドルリーダー研修」の欄から入力してください。

(5) 受講決定及び通知

受講決定者の氏名は、総合教育センター Web サイト上で発表します。
 なお、この発表をもって受講者の決定及び通知とします。

6月5日（月）午前10時以降

(6) 受講者の決定方法等

(2)の③希望研修、④大学・研究機関等研修については、次のように受講者を決定します。

【受講希望者数が定員を超過した場合】

抽選等で受講者を決定します。その際、ミドルリーダー研修受講者及び校内順位上位の者を優先させることがあります。

【受講希望者数が定員に満たない場合】

定員に満たない研修講座については、**二次募集**を行います。**6月5日（月）午前10時以降**に総合教育センター Web サイト上で発表しますので、受講希望者は、学校長の承認を得て、各学校の入力担当者を通じて申し込んでください。

なお、二次募集の最終の申込み期限は、各研修講座開催日の1週間前です。

(7) 欠席（遅刻・早退）の届

①欠席する場合は、あらかじめ管理職員（緊急の場合は本人）が、その研修講座の担当者に電話連絡し、管理職員は、速やかに欠席届をメールに添付して送付してください。なお、送付は、学校代表もしくは管理職員のメールアドレスから行うようにしてください。

②メールの件名は【欠席届】研修講座名としてください。

※公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園においては、送付文書（かがみ）を作成し、所管の市町教育委員会又は児童福祉担当部局へもメールに添付して提出してください。



徳島県立総合教育センター
〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7
電話：088-672-5000
ファクシミリ：088-672-5005
E-mail webmaster@mt.tokushima-ec.ed.jp

ホーム 生涯学習 教職員研修講座 教職員支援・学校支援 教育相談・特別支援 GIGAスクール推進

教職員研修講座
年間計画
講座要項
研修資料
eラーニング
講座申込
提出書類のダウンロード

このページは、教職員向け研修・講座についてのページです。

年間計画 講座要項 研修資料 eラーニング
講座申込 提出書類のダウンロード 小英サポートデスク 教職員支援コンテンツ

教職員研修の様式

- ・フレッシュ研修Ⅰ様式
- ・フレッシュⅡ研修Ⅱ様式
- ・ジャンプアップ研修様式
- ・ミドルリーダー研修Ⅰ様式
- ・上級教諭・指導教諭研修様式
- ・上級教諭研修（任用1年11小・中）様式
- ・学校リーダー研修（新任教諭等）様式
- ・新任中級職員研修様式
- ・推薦研修参加者名簿
- ・研修欠席届
（添付検索表）

ここをクリック

研修欠席届

名前	サイズ	更新日
01県立総合教育センター提出用	144 KB	01/04
02徳島県教育委員会提出用	435 KB	01/04

ここをクリック

(8) 研修講座中止の場合

研修当日、午前7時（午後開催の場合は午前10時）の時点で研修会場を含む地域（総合教育センターの場合は「板野町」地域）に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

ただし、主幹教諭研修 [P.25]、学校防災人材育成講座 [P.28]、教育職員免許法認定講習、社会教育主事講習 [P.30] については、配付される実施要項で詳細を確認してください。

(9) 受講に際しての支援

受講に際し、支援（講義中や講義資料に関する情報保障、会場内での移動に関する支援など）を希望される方は、申し込む前に電話又はファクシミリ、もしくはメールで各研修講座担当者まで御連絡ください。相談して、対応いたします。

11 研修履歴の活用について

とくしま教員育成指標をもとに、該当するステージに必要な資質・能力を培うために、主体的に研修に取り組み、長期的な視野をもってキャリア形成を行っていく必要があります。

次の手順で個人の研修受講履歴を閲覧することで、研修計画の立案に役立てたり、ポートフォリオとして受講履歴を確認したりすることができます。

- (1)徳島県立総合教育センターホームページを表示し、画面上部のタブの「**教職員研修講座**」をクリックします。表示された画面から「**講座申込**」をクリックします。
- (2)次に表示された「**研修講座申込みシステム**」の画面の右上の「**ログイン**」をクリックすると、画面が変わるので、ユーザーIDとパスワードを入力してログインします。
各自、自分の研修履歴を確認することができます。



ユーザーIDとパスワードを入力してください

ユーザーID:

パスワード:

※ログインに使用するユーザーIDとパスワードは、4月に各学校に配付される資料で御確認ください。

- (3)ログイン後、画面左側のメニューから「**研修履歴表示**」をクリックしてください。研修履歴が表示されます。
必要に応じて印刷して御活用ください。



ようこそ 徳島 太郎 さん / [ログアウト](#)

研修履歴表示

15件のデータがありました。 ☐ 基本研修の詳細表示 ▼

学校	氏名	研修種別	研修名・研修講座名	年度	受講日数(回数)
"	"	"	学校安全教室並びに学校安全教育指導者研修会	H23	1.0
"	"	"	徳島県中学校教育課程研究集会（総則）	H24	1.0
"	"	"	学校安全教室及び学校安全教育指導者講習会	H27	1.0
"	"	特別研修	情報モラル教育研修会	H27	1.0

12 利用案内

★総合教育センターでは、教職員の学びを積極的にサポートします★

カリキュラムサポートセンター

研修でセンターに来られたときや第2・第4土曜日にゆっくりと御利用ください。きっと、新しい情報を収集でき、明日からの授業に役立つはずです。

学校訪問や基本研修での各種指導案、研究大会資料、文部科学省・県指定研究紀要、実践事例集、事業報告書、教育図書、教育雑誌等を見ることができます。各種指導案と新着図書以外は、貸出（3週間以内）ができます。

★各種指導案の一覧及び教育研究資料の一部は、総合教育センターのWebサイトで検索できますので御活用ください。



御利用いただける時間

月曜日～金曜日	9:00～17:00
火曜日・金曜日（要予約）	17:00～19:00
（長期休業日中は9:00～17:00）	
第2・第4土曜日	9:00～17:00
（祝日、長期休業期間中を除く）	

※来所時には、必ずWebサイトを御確認ください。
カリキュラムサポートセンター（電話）088-672-6412

カリキュラム・カフェ(カリカフェ)

第2・第4土曜日に一緒に教材作成したり、情報交換したりしませんか。

学習指導や生徒指導に関して、指導主事にいろいろなことを気軽に相談できる場です。

申込みは、Webサイトの【教職員支援・学校支援】→【カリキュラム・カフェ】→【申込み】からできます。多くの教職員の方々の御参加をお待ちしています。

～カリキュラム・カフェの活用方法～

♪ 研究大会の研究の進め方や学習指導案の書き方、校内研修についての相談でも大丈夫です。

♪ 明日からの授業にやる気と元気がより一層でてくるようサポートします。



問合せ・申込み先
学校経営支援課
（電話）088-672-6420

★総合教育センターでは、教職員の学びを積極的にサポートします★

生涯学習の拠点「マナビィセンター（1階）」 ～子供たちと教職員の学びをサポートします～



図書コーナー

大型絵本や紙芝居等、各種教育関係図書も取りそろえています。また、幼児・児童生徒向けの「とくしまの子どものためのブックリスト100」の100冊セット貸しも行っています。朝読や授業でも御利用いただけます。

貸出期間は、基本3週間としておりますが、必要に応じて御相談ください。



視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーでは、DVD、VHSの視聴覚教材をはじめ、GoPro7やVRゴーグル、DVD一体型プロジェクター、ハンズフリー拡声器等の機器の貸出も行っています。貸出期間は、基本1週間としておりますが、校内研修や人権ホームルーム等の教材開発、行事等で御利用の際は御相談ください。



交流コーナー

学校や各種団体等の作品展を行っています。
展示を希望される場合は、お問合せください。



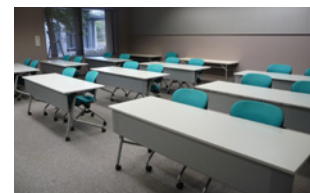
各種講座

家庭教育支援や生涯学習推進等を目的とした各種講座を実施しています。また、県立総合大学校本部事務局として、「ふるさと徳島」の文化・自然・くらし等を学ぶ講座や、地域の活性化につながる講座を実施しており、キャリア教育の充実や進路指導にも役立つ情報が満載です。ぜひ、御参加ください。また、児童・生徒・保護者の方々にも御案内ください。



まなびいルーム

定員20名程度の利用に最適な多目的ルームで、備え付けのプロジェクターやスクリーン、音響設備、飛沫防止パネル等があります。無料で、土曜日、日曜日、祝日も御利用いただけます。ぜひ、研究会などに御活用ください。



お問い合わせ：生涯学習支援課（1階 マナビィセンター内）088-672-5400

徳島県立総合教育センターホームページ

トップページより/生涯学習/「まなびひろば」

<https://www.tokushima-ec.ed.jp/>

「まなびひろば」QRコード



御利用いただける時間

開館時間：9：00～17：00

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、12月28日～1月4日、点検日

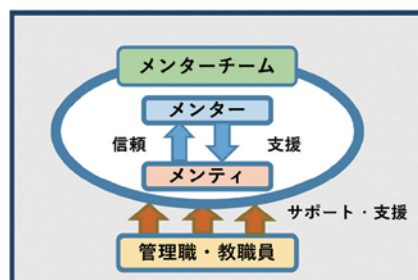


「徳島型メンター制度」について

～チームで育てる教師力～

徳島型メンター制度とは

メンター（先輩教職員）とメンティ（初任者・若手教職員）で**チーム**を組織し、メンティの悩みや課題を解決するとともに、ベテラン教職員の指導技術の伝承を行うなど、**全教職員で若手教職員を育てる**システムのこと。



徳島型メンター制度の進め方

- (1) メンター、メンティ、メンターリーダーの選定。
- (2) チーム名、実施日、実施回数、場所の決定。
- (3) 研修内容、研修方法の検討、年間研修計画の作成。
 - ◇メンティへの**事前アンケート**等をもとに、メンティの実態に即した内容を決定。
（「とくしま教職員研修のしおり（フレッシュ研修のしおり）」の活用）
 - ◇楽しく自主的に学べるよう工夫し、**メンタルヘルス**につながる研修を心がける。
 - ◇グループ協議や参加体験型を取り入れるなど、研修方法の工夫。
 - ◇年間研修計画作成の留意点
 - ・とくしま教員育成指標を活用すること
 - ・初任者は校外研修との関連を踏まえること
 - ・管理職の指導・助言を受けること
- (4) **ベテラン教職員のスキル**の積極的な活用。（校内外からの講師招聘）
- (5) 役割（準備・進行・記録等）を**輪番制**にするなど、負担軽減を考慮。
- (6) **通信・掲示板**等により、取組・進捗状況を全職員に発信。
- (7) 研修内容や方法等の定期的な見直し。

徳島型メンター制度のメリット

メンティにとって

- ・個々の**ニーズ**（課題）を踏まえた効果的な研修ができる。
- ・培われた人間関係により、「日常的に・気軽に・本音で」**相談できる相手**が増え、精神的な安定が得られる。
- ・将来目指したい**ロールモデルとの出会い**が生まれ、キャリア形成をイメージできる。

メンターにとって

- ・自らの知識や指導技術を整理でき、**再構築をする**よい機会となる。
- ・責任感や使命感がより一層高まる。
- ・コミュニケーションスキルやコーチングスキルが向上する。
- ・ミドルリーダーとしての**自覚と資質**が向上する。

学校にとって

- ・多くの教職員を巻き込むことで、それぞれの**モチベーションアップ**につながる。
- ・教職員間に、**学び合い、支え合う環境**が構築される。
- ・校内の人的ネットワークが広がり、「**同僚性**」や「**職場への愛着心**」が生まれる。

学校全体の教育力の向上
学校の活性化を図るきっかけ

詳細は、令和4年2月発出の「やってみよう・振り返ろう『徳島型メンター制度』推進ガイド」を参照してください。

お問い合わせ 徳島県教育委員会 教職員課

●●●●● 交通アクセス ●●●●●

JRを利用する場合

- 板野駅で下車 車で約6分（駅前にタクシー有り）

自動車を利用する場合

- 高松自動車道 板野I.C. から車で約7分
- 徳島自動車道 藍住I.C. から車で約10分（県道鳴門ー池田線に案内標識有り）

バスを利用する場合

- 徳島駅前バスターミナル ⑭番乗り場
徳島バス「あすたむらんど経由鍛冶屋原行」により、「総合教育センター」で下車

平日ダイヤ（下り）

徳島駅前	不動支所	直 道	板野駅南	総合教育センター	あすたむらんど	鍛冶屋原車庫
8:45	9:02	9:21	9:28	9:33	9:40	9:58
10:15	10:32	10:51	10:58	11:03	11:10	11:28
11:15	11:32	11:51	11:58	12:03	12:10	12:28

平日ダイヤ（上り）

鍛冶屋原車庫	あすたむらんど	総合教育センター	板野駅南	直 道	不動支所	徳島駅前
12:19	12:25	12:30	12:37	12:44	13:06	13:23
14:39	14:55	15:00	15:07	15:14	15:36	15:53
16:39	16:55	17:00	17:07	17:14	17:36	17:53

土日祝ダイヤ（下り）

徳島駅前	不動支所	直 道	板野駅南	総合教育センター	あすたむらんど	鍛冶屋原車庫
8:45	8:59	9:18	9:25	9:30	9:37	9:55
10:15	10:32	10:51	10:58	11:03	11:10	11:28
11:15	11:32	11:51	11:58	12:03	12:10	12:28
13:15	13:32	13:51	13:58	14:03	14:10	14:28
15:15	15:32	15:51	15:58	16:03	16:10	16:28

土日祝ダイヤ（上り）

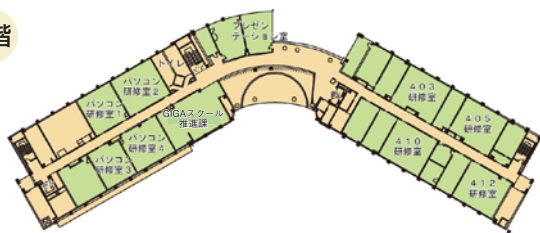
鍛冶屋原車庫	あすたむらんど	総合教育センター	板野駅南	直 道	不動支所	徳島駅前
10:09	10:25	10:30	10:37	10:44	11:06	11:23
12:09	12:25	12:30	12:37	12:44	13:06	13:23
15:09	15:25	15:30	15:37	15:44	16:06	16:23
16:39	16:55	17:00	17:07	17:14	17:36	17:53

8/12～8/15, 12/29～1/3は、土日祝ダイヤで運行
（令和4年10月1日現在）

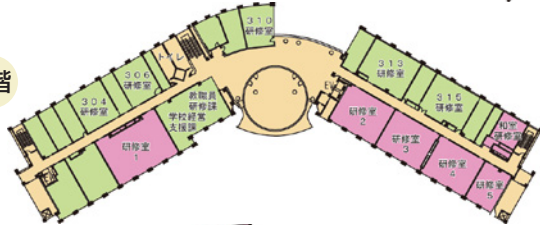
※交通状態により多少遅れることがあります。

●●●●● フloor案内図 ●●●●●

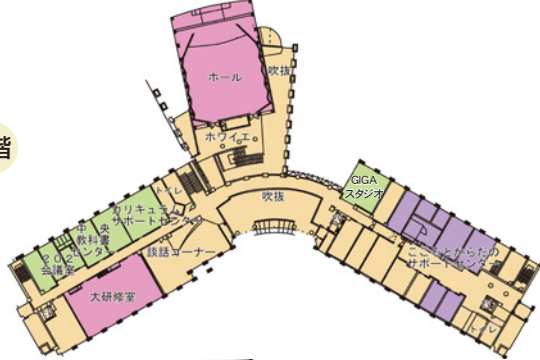
4階



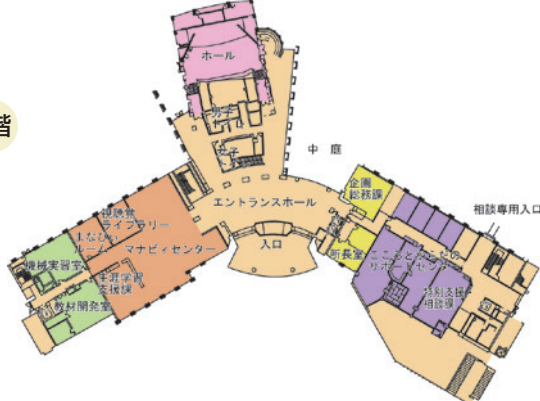
3階



2階



1階



周辺地図



徳島県立総合教育センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1ー7

URL <https://www.tokushima-ec.ed.jp/>

企画総務課	電話 088-672-5000	ファクシミリ 088-672-5005
学校経営支援課	電話 088-672-5300	ファクシミリ 088-672-6411
教職員研修課	電話 088-672-5100	ファクシミリ 088-672-6411
GIGAスクール推進課	電話 088-672-5064	ファクシミリ 088-672-5109
特別支援・相談課	電話 088-672-5200	ファクシミリ 088-672-5229
生涯学習支援課	電話 088-672-5400	ファクシミリ 088-672-5462

徳島県教育委員会

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地

教育政策課	電話 088-621-3115	ファクシミリ 088-621-2879
学校教育課	電話 088-621-3135	ファクシミリ 088-621-2882
人権教育課	電話 088-621-3157	ファクシミリ 088-621-2885
体育健康安全課	電話 088-621-3167	ファクシミリ 088-621-3173